

平成21年度版 川を題材とした

総合的な学習の時間

活動事例集



平成22年3月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会
岐阜県砂防協会

はじめに

岐阜県河川課及び砂防課では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらい、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成13年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組まれている学校への支援を行ってきました。

平成21年度は、これらのテーマに基づき、環境面では河川内の生物調査、水質調査、美化活動など、また治水面では河川事業や砂防事業の役割の紹介やダムの見学などを実施しました。

この冊子は、平成21年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、川を題材とした学習を進められる方々の参考としていただければ幸いです。

平成22年3月

岐阜県県土整備部河川課長 堂 蘭 俊多
砂防課長 鈴 木 猛

目 次

はじめに

目 次

1	支援活動事例	1
1)	これまでの支援活動の経緯	1
2)	平成21年度支援活動一覧表	4
	山県市立高富小学校	6
	岐阜市立長森南中学校	12
	岐阜市立厚見中学校	14
	羽島市立小熊小学校	16
	岐阜市立本郷小学校	18
	海津市立下多度小学校、海津市立東江小学校	21
	水門川の川底学習会	24
	養老町立上多度小学校	30
	池田町立八幡小学校	32
	揖斐川町立揖斐川中学校	35
	美濃市立牧谷小学校	38
	美濃市立藍見小学校	41
	関市立金竜小学校	44
	美濃市立中有知小学校	46
	美濃市立美濃小学校	48
	関市立安桜小学校	50
	関市立富野小学校	52
	関市立武儀中学校	54
	関市立洞戸小学校	56
	関市立上之保小学校	58
	郡上市立明宝小学校	60
	七宗町立神淵小学校	63

可児市立南帷子小学校	6 6
可児市立広見小学校	6 8
白川町立白川小学校	7 1
瑞浪市立土岐小学校	7 4
瑞浪市立釜戸小学校	7 7
多治見市立精華小学校	7 9
南山大学付属小学校	8 1
多治見市立共栄小学校	8 3
瑞浪市立瑞浪小学校	8 5
多治見市立根本小学校	8 7
中津川市立付知南小学校	8 9
恵那市立岩邑小学校	9 2
恵那市立中野方小学校	9 4
恵那市立山岡小学校	9 6
中津川市立川上小学校	9 8
下呂市立小坂中学校	1 0 1
下呂市立湯屋小学校	1 0 3
下呂市立菅田小学校	1 0 5
下呂市立尾崎小学校	1 0 7
下呂市立宮田小学校	1 0 9
高山市立清見小学校	1 1 1
高山市立南小学校	1 1 3
白川村立白川中学校	1 1 5
飛騨市立古川西小学校	1 1 7

2 支援窓口一覧表	1 2 2
-----------	-------

支 援 活 動 事 例

1)これまでの支援活動の経緯

岐阜県河川課では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらい、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成13年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組まれている学校への支援を積極的に行ってきました。

平成13年度

岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村役場職員、有識者、河川管理者等で「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」を開催し、自然学習の結果報告や今後の教育連携のあり方について意見交換し、課題や問題点をまとめ、今後の自然学習を広める方策を検討しました。

平成14年度

学校への支援活動は、8建設事務所、16市町村、小中19校、20学年、実施人数1,000余名、実施回数44回の支援を行いました。また、8月には指導者のための河川水質調査研修会、3月には「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム2003～これでわたしも川博士～」を開催しました。

平成15年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町村、小学校22校、23学年、実施人数1,110名、実施回数48回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を行いました。

平成16年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町、小中学校18校、26学年、実施人数約1,700名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

平成17年度

学校への支援活動は、11建設事務所、17市町、小中学校22校、27学年、実施人数約1,680名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

平成18年度

学校への支援活動は、10土木事務所、18市町、小中学校31校、33学年、実施人数約2,050名、実施回数39回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

※ 砂防課所管分も合算。

【内訳】 河川課所管分 17市町、小中学校27校、29学年、実施人数約1,960名、実施回数35回
砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約90名、実施回数4回

平成19年度

学校への支援活動は、11土木事務所、19市町、小中学校40校、46学年、実施人数約2,460名、実施回数54回の支援を行いました。また、8月～11月には県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】 河川砂防課合同分 6市町、小中学校9校、10学年、実施人数約860名、実施回数15回
河川課所管分 15市町、小中学校27校、32学年、実施人数約1,490名、実施回数34回
砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約110名、実施回数5回

平成20年度

学校への支援活動は、11土木事務所、21市町、小中学校39校、41学年、実施人数約2,650名、実施回数48回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約620名、実施回数9回
河川課所管分 15市町、小中学校28校、30学年、実施人数約1,550名、実施回数32回
砂防課所管分 6市町、小中学校7校、7学年、実施人数約300名、実施回数7回

平成21年度

学校への支援活動は、11土木事務所、20市町、小中学校46校、51学年、実施人数約2,940名、実施回数56回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 5市町、小中学校8校、10学年、実施人数約640名、実施回数14回
河川課所管分 14市町、小中学校32校、30学年、実施人数約2,020名、実施回数36回
砂防課所管分 6市町村、小中学校6校、9学年、実施人数約290名、実施回数6回

2)平成21年度 支援活動一覧表

事務所	No.	支援校名	H20~ 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
岐阜	1	山県市立高富小学校		治水 環境	石田川の昔と今、生物調査、水質調査	6月、9月・4年生
	2	岐阜市立長森南中学校		環境	境川の生物調査	9月・1年生
	3	岐阜市立厚見中学校		治水 環境	境川の水質・生物・歴史について	10月・1年生
	4	羽島市立小熊小学校	○	治水	低地の人々の暮らし 水屋・輪中堤、水防倉庫に関する説明	11月・4年生
	5	岐阜市立本郷小学校	○	治水	長良川の川の様子を知る、過去の 水害や治水事業の紹介	11月・5年生
大垣	6	海津市立下多度小学校 海津市立東江小学校		環境	津屋川のゴミ拾いと生物調査	6月・3,4年生
	7	水門川の川底学習会	○	環境	水門川のゴミ拾いと生物調査	7月・保育園～6 年生
	8	養老町立上多度小学校	○	砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 土石流の模型実験	10月・4年生
揖斐	9	池田町立八幡小学校	○	環境	杭瀬川の生物調査、水質調査	6月・4年生
	10	揖斐川町立揖斐川中学校		砂防	東横山地すべり対策工事見学	5月・1年生
美濃	11	美濃市立牧谷小学校		環境	板取川カワゲラウォッチング	6月・5年生
	12	美濃市立藍見小学校		環境	渡来川の生物調査、水質調査	6月、7月・4年生
	13	関市立金竜小学校	○	環境	津保川カワゲラウォッチング	6月・4年生
	14	美濃市立中有知小学校		環境	小俣川カワゲラウォッチング	6月・4年生
	15	美濃市立美濃小学校		環境	長良川カワゲラウォッチング	7月・4年生
	16	関市立安桜小学校	○	環境	関川カワゲラウォッチング	9月・4年生
	17	関市立富野小学校	○	環境	小野川カワゲラウォッチング	10月・5年生
	18	関市立武儀中学校	○	環境	津保川カワゲラウォッチング	10月・1年生
	19	関市立洞戸小学校		環境	板取川カワゲラウォッチング	10月・4年生
	20	関市立上之保小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 砂防施設の現場視察	10月・5年生
郡上	21	郡上市立明宝小学校	○	環境 砂防	水質浄化実験 砂防えん堤、魚道の役割の学習	9、11月・4年生
可茂	22	七宗町立神淵小学校	○	環境	神淵川カワゲラウォッチング 水質調査	6月・4年生

事務所	No.	支援校名	H20~ 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
可茂	23	可児市立南帷子小学校		環境	可児川の生物調査	7月・3年生
	24	可児市立広見小学校	○	治水	可児川の説明、頭首工見学	10月・5年生
	25	白川町立白川小学校		砂防	土砂災害・砂防事業の説明	6月・5,6年生
多治見	26	瑞浪市立土岐小学校	○	環境	ガサガサ探検隊（土岐川） 花の苗植	6、12月・5年生
	27	瑞浪市立釜戸小学校		環境	ガサガサ探検隊（土岐川）	6月・3年生
	28	多治見市立精華小学校		環境 砂防	ガサガサ探検隊（大原川） 砂防施設の説明	6月・5年生
	29	南山大学付属小学校		環境	ガサガサ探検隊（土岐川）	6月・3年生
	30	多治見市立共栄小学校		環境	ガサガサ探検隊（高田川）	7月・4年生
	31	瑞浪市立瑞浪小学校	○	環境 砂防	ガサガサ探検隊（万尺川） 砂防施設の説明	7月・5年生
	32	多治見市立根本小学校		環境	ガサガサ探検隊（大原川）	10月・4年生
恵那	33	中津川市立付知南小学校	○	環境	付知川カワゲラウオッチング	6月・4年生
	34	恵那市立岩呂小学校	○	治水 環境	岩村ダム見学 岩村川カワゲラウオッチング	5、6月・4年生
	35	恵那市立中野方小学校	○	治水	中野方ダム見学	6月・4年生
	36	恵那市立山岡小学校		環境	小里川カワゲラウオッチング 水質調査	9月・4年生
	37	中津川市立川上小学校		砂防	土砂災害・砂防事業の説明	7月・3、4年生
下呂	38	下呂市立小坂中学校	○	環境 砂防	大洞・小坂・飛騨川カワゲラウ オッチング、砂防事業説明	6月・1年生
	39	下呂市立湯屋小学校		環境 砂防	大洞・小坂・飛騨川カワゲラウ オッチング、砂防事業説明	6月・4年生
	40	下呂市立菅田小学校	○	環境 砂防	菅田川カワゲラウオッチング 砂防事業説明	7月・5、6年生
	41	下呂市立尾崎小学校		環境 砂防	山之口川カワゲラウオッチング 砂防事業説明	7月・4年生
	42	下呂市立宮田小学校	○	治水	大ヶ洞ダム見学	7月・4年生
高山	43	高山市立清見小学校	○	環境	川上川カワゲラウオッチング	7月・4年生
	44	高山市立南小学校		環境	苔川カワゲラウオッチング	7月・4年生
	45	白川村立白川中学校		砂防	土砂災害・砂防事業の説明	6月・1～3年生
古川	46	飛騨市立古川西小学校	○	環境 砂防	カワゲラウオッチング、水質調 査、砂防事業・水害の説明	7、9、11月 ・4、5年生

報告様式①

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤井 忠直・伊藤 篤	内線	334
支援学校名	山県市立高富小学校	Tel.	0581-22-1066
担当教員名	東海先生、山口先生、河島先生		
対象学年	4年生 83名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】	
5	5月21日(木)学習内容の打合せ		
6	6月19日(金)(13:20~14:05)、25日(木)(9:35~10:20) 学習場所:山県市立高富小学校教室 テーマ:「河川改修と環境」 学習内容:①河川改修工事の是非 ②石田川の昔と今 ③環境に配慮した河川改修	【連携内容】	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第1担当	氏 名	藤井忠直・伊藤篤	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海・山口・河島先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月19日(金)(13:20~14:05)、

25日(木)(9:35~10:20)

学習場所:山県市立高富小学校教室

テーマ:「河川改修と環境」

学習内容:①河川改修工事の是非

②石田川の昔と今

③環境に配慮した河川改修

【工夫した点、苦労した点】

- ・子どもたちにいかに分かりやすい言葉で話をするかが苦労した。
- ・昔と今を比べるために、航空写真(1947年、1973年、2006年)、川の写真(昭和54年、平成21年)を並べて、分かりやすく表示した。
- ・昭和51年被災時等の過去の写真を探すのに苦労した。

【子供達の反応】(先生からの意見)

- ・洪水時の被害状況の写真や浸水被害が合った地域の地図を見たりして、大きな被害があったこと、改修工事は、洪水対策のために行われたことを理解できた。同一場所による工事前後の写真から、どのような工事が行われたかを知ることができた。さらに、最近では、自然の生き物の生態に配慮した改修工事が行われていることを知り、河川を中心とした環境とどのように関わっていけばよいかを考えることができた。

【学校関係者からの意見】

- ・洪水対策、ホタルの保護の観点から、改修工事について子どもたちが真剣に考え、意見を述べる事ができた。改修工事が行われた経緯について、視覚的に分かりやすい資料を作成していただき、具体的に説明していただいたので、河川改修に対する理解が深まった。

【今後の課題・課題への提案】

今後の水棲生物の調査等でも、連携を図っていきたい。

【担当者として得たもの】

- ・子どもたちの率直な意見(改修止む無し、環境に悪い)を直に聞き、その言葉が忘れられない。大人の意見よりも、心に響いた。
- ・石田川沿いでホタルを見たことがある子どもが多かったことに、胸を撫で下ろしたが、これからも人を守りながら、環境も守らなければならないということを痛感させられた。



石田川の改修に対する子どもたちの意見発表
(改修工事やむを得ない、ホタルの保護が重要)



「石田川の昔と今」
航空写真などを使用し、昔と今の違いや、現在の環境に配慮した改修方法などをパワーポイントで説明。



「これからも人も守りながら、環境も守ってほしい。」
という願いを伝える子どもたちの真剣な眼差し。

所 属	河川砂防課 河川第1担当	氏 名	藤井忠直・伊藤篤	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海・山口・河島 先生	対象学年	4年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想（主なものを抜粋）】

- ・ 石田川の改修工事をする時は、人間の命を優先していたと思います。ゲストティーチャーさんのお話を聞くと、今までは、人間の命を優先してばかりだったけれど、最近は、生き物の命を考えた工事が行われていることがわかりました。人の命も、生き物の命も両方大切にしていけることが大切だと感じました。
- ・ ゲストティーチャーさんのお話を聞いて、昭和51年の洪水は、思っていたより水がつかっている所が多くて、びっくりしました。今は、人の命を守りながら、生き物の命も守ろうとする工事が行われていることがわかりました。これから、私たちも、生き物を守っていくために何かできることがあるか考えて、生き物を守ってきたいです。
- ・ 昔は、人を優先し改修工事が行われていたけれど、今は、堤防のコンクリートに土を入れ、卵を産む場所を作り、工夫してあるのでいいなあと思いました。人も生き物も生きていけるのでうれしかったです。
- ・ ぼくは、最初工事をするのは、よくないと思っていました。わけは、生き物がいなくなるからです。でも、今日、ゲストティーチャーさんの話を聞いて、工事をしないと高富の町が洪水の時に大変なことになってしまうことが分かりました。また、人の命も大切だから、工事は仕方がないと思いました。最近の工事では、生き物を他の場所に移してから工事をするので、生き物も大切にされていると思いました。
- ・ 私は、初め改修工事をするのはよくないと思っていました。しかし、人の命も大事だし、高富の町の人、自分の家が水につかるのはいやだから、工事をするのは、仕方がないと思うようになりました。最近は、生き物を大切にしたい工事がされているので、すごいと思いました。

報告様式①

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	伊藤 篤	内線	334
支援学校名	山県市立高富小学校	Tel.	0581-22-1066
担当教員名	東海先生、山口先生、河島先生		
対象学年	4年生 83名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 どろんこ探検隊 寺町 茂	
5			
6			
7		【連携内容】 生き物調査	
8			
9	9月9日(水)学習内容の打合せ 9月17日(木)(9:00~15:00) 学習場所:石田川公園及び山県市立高富小学校理科室 テーマ:「河川環境」 学習内容:①生き物調査 ②水質調査		
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所属	河川砂防課 河川第1担当	氏名	伊藤篤	内線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海・山口・河島先生	対象学年	4年生

【事例概要】

9月17日(木)(9:00~15:00)

学習場所: 石田川公園及び山県市立高富小学校理科室

テーマ: 「河川環境」

学習内容: ①生き物調査

②水質調査

【工夫した点、苦労した点】

- ・子どもたちに石田川がどれくらい汚れているのかを他の川と比べることで理解してもらった。
- ・子どもたちが自分で捕獲した生物を自分で調べる機会があれば良いと思った。

【子供達の反応】(先生からの意見)

- ・子ども達が見つけた生き物が、汚れに強い生き物、きれいな水にしかすめない生き物のどちらかを知ること、水生生物から、石田川の水質について考えを深めることができた。
- ・一人一人が、CODの意味を理解し、検査薬を用いて調査することで、石田川と、周辺にある河川の汚染度を比較することができた。石田川のみを調べてきた子ども達にとって、他の河川と比較することで、総合的に石田川を見つめることができた。

【学校関係者からの意見】

- ・実際に子ども達が見つけた生き物について、名前やどんな特徴があるかを知ることができたので、生き物を通して、川を見つめることができた。また、多くの方に子ども達を見ていただけたので、安全に調査を行うことができた。
- ・パックテストの方法をていねいに教えていただいたり、石田川以外の河川の水質を一人一人が調べたりすることができたので、意欲的に学ぶことができた。

【今後の課題・課題への提案】

石田川の自然環境を守るためには、これからの子どもたちに現状を知ってもらい、これからどうして行くべきなのかを考えてもらうためにも、継続的に実施していくことが重要と考える。できれば、地域の大人たちも一緒にできれば、いいと考えている。

【担当者として得たもの】

- ・子供たちと一緒に、きれいな川、きたない川に棲む生物を学び、石田川の現状を把握することが出来た。



石田川での生き物調査(主に魚類)



生徒一人一人が、石田川の水を検査薬(パックテスト)を用いて調査。



石田川の水質は、長良川など他の河川と比べてどうだったか、結果発表。

所 属	河川砂防課 河川第1担当	氏 名	伊藤篤	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海・山口・河島 先生	対象学年	4年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想（主なものを抜粋）】

- ・ 私は、石田川にはザリガニや小さい魚だけがいると思っていたけれど、調べてみると、オイカワやアメリカザリガニ、エビなど思ったよりたくさんの生き物がいたので、驚きました。石田川のCODだけでなく、長良川や伊自良川のCODも調べることができたのでよかったです。長良川はCODが0から2だったので、やっぱりきれいなあと思いました。石田川は、長良川と比べるとちょっときたないのかなあと思いました。
- ・ 石田川には、いろいろな生き物がいることがわかりました。きれいな水にしかすめない生き物やきたない水でもすめる生き物がいることがわかりました。CODの調査では、伊自良川や石田川は5で、牛乳がほんの少しまざると、20になることがわかりました。家庭から流れ出る排水がきたないことがわかりました。だから、少しでも水をきれいにして、川をきれいにして、生き物をたくさん増やしたいです。

報告様式①

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	三宅伸也	内線	336
支援学校名	岐阜市立長森南中学校	Tel.	058-382-2109
担当教員名	大塚先生		
対象学年	1年生 165人 のうち2クラス		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/8	NPO小林氏来所 総合学習支援依頼	【機関・団体名】 NPO法人生涯学習研究所	
9	<p>土木事務所にて小林氏と支援内容の打合せ ・学習内容の確認</p> <p>※電話、メールにて調整</p> <p>小林氏と現地立ち会い(学習場所、学習手順、安全確認等)</p> <p>※ハシゴ設置、草刈り等進入路確保</p> <p>9月28日(月)総合学習「生き物調査隊」 14:15~15:30 学習場所:境川(岐阜市高田地内) 今回のテーマ:「水生生物調査」</p> <p>①事前説明 ②魚の捕獲 ③魚の種分け、記録</p>	<p>(資材支援) 岐阜振興局環境課 ※胴長、タモ網</p>	

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	三宅伸也	内 線	336
支援校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	大塚先生	対象学年	1年生

【事例概要】

9月28日(月) 14:15~15:30
 総合学習「生き物調査隊」
 学習場所:境川(岐阜市高田地内)
 今回のテーマ:「水生生物調査」

- ①事前説明
- ②魚の捕獲
- ③魚の種分け、記録

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 捕まえた生き物の名前を調べられるように、資料を用意した。
- ・ 生徒たちが安全に川に降りられるように、ハシゴ設置、除草を行った。

【生徒達の反応】

- ・ 思ったよりも多くの生物がいて、驚いた。地域のことを知っているようでしっかりと把握していないことがわかった。
- ・ とても楽しい活動だった。
- ・ 初めて見る生物がいてとても興味がわいた。
- ・ 魚の捕まえ方がわかった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 水位が高く心配であったが、河川砂防課の方々のご尽力により水位が調整され、予定通り活動を実施することができた。とてもありがたかった。
- ・ はしごをかけてくださったことや除草をしてくださったことで安全に活動することができた。
- ・ 体験を通して地域を学ぶことができた。生徒の輝く目と生き生きと活動する姿が印象的だった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 学習目的に沿った形で支援できるよう、先生と打ち合わせを行いたかったが、新型インフルエンザの影響で、打ち合わせが行えなかった。
- ・ 過去にもこの場所で総合学習を行っていたようだが、川へ降りられる場所がないため、今後階段等の設置を検討してはどうか。



《事前説明》
 ガサガサのやり方、川に入る際の注意事項等の説明を行いました。



《魚類捕獲》
 生徒と一緒に調査を行いました。



《魚の種分け、記録》
 みんなで捕まえた生き物を種類ごとに分け、名前と数を調べました。

報告様式①

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	三宅伸也	内線	336
支援学校名	岐阜市立厚見中学校	Tel.	058-246-0355
担当教員名	山田先生		
対象学年	1年生(境川グループ約30人)		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/9	電話にて講師依頼 ・学習内容の確認 ※電話、メールにて調整	【機関・団体名】	
10	10月1日(木)総合学習「境川について」 13:45～15:00		

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	三宅伸也	内 線	336
支援校名	岐阜市立厚見中学校	担当教員名	山田先生	対象学年	1年生

【事例概要】

10月1日(木) 13:45~15:00
総合学習のテーマ:「境川について」

①水質 ②生物 ③歴史

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 境川の過去からの変化が分かるよう、国土地理院のHPより昭和23年の航空写真を用意した。

【生徒達の反応】

お話を聞く中で、事前に準備した質問以外にも新たな疑問が湧いてくるなど積極的に話を聞くことができた。また、航空写真には大変興味を持ち、いつまでも覗き込んでいた。

(生徒の感想)

- ・ 話を聞いているとどんどん境川がきれいになってきているということにとっても驚きました。これからもっときれいにしていきたいです。
- ・ しっかりと境川について学ぶことができました。例えば境川のごみは特に家庭から出されていることが分かりました。新たな発見やビックリしたこともあったので、とても楽しかったし、とても勉強になったのでよかったです。

【学校関係者からの意見】

生徒からの質問に丁寧に答えていただけで感謝しています。また、境川という限られた範囲であるにもかかわらず、多くの資料を提示していただきました。生徒達が自分たちのできることを見つけて、地域に発信していけるように期待しています。

また、初めは電話での問い合わせだったにもかかわらず、丁寧に対応してくださりありがとうございました。失礼なことも多々あったことと思いますが、子どものために大人が動いてくださったことが生徒達にとって財産になるように思います。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 夏休みに生物の調査を行ったようなので、次年度以降は学校側からの要請があれば、生物調査も含めて支援を行いたい。



《質疑応答》

水質・生物・歴史について生徒から質問を受けました。



《質疑応答》

国土地理院HPより昭和23年の航空写真を印刷し、説明しました。



《境川モザイク写真》

みんなで航空写真を見て、境川について調べました。

報告様式①

土木事務所名 (岐阜土木事務所)

建設事務所担当者名	松本省吾、藤井孝和	内線	337
支援学校名	羽島市立小熊小学校	Tel.	058-391-3059
担当教員名	大橋先生		
対象学年	4年生 43名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4 5 6 7 8 9 10 11 12 22/1 2 3	<p>8月7日(金) 実施内容打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校との実施目的確認、内容の概略打合せ <p>9月～10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子メール等により実施計画書の検討、役割分担の決定、各機関への手配 <p>※水屋所有者、ふるさと先生、水防倉庫等 排水機場(国土交通省)</p> <p>11月17日(火)体験学習の実施 学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか テーマ「低地の人々のくらしを守る施設を調べよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①水屋の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害から村を守る取り組みについて説明。 ②旧輪中堤の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪中の役割について説明。 ③排水機場(逆川排水機場)の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水機場の概要、沿革について説明 ④水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水防団の役割、水防道具等の説明 ⑤排水機場(境川排水機場)の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水機場の施設内容および効果について説明の後 実際にポンプのエンジンを起動 	<p>【機関・団体名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水屋所有者(近藤氏) ・ ふるさと先生(横山氏、 小熊小元校長、地元 在住) ・ 羽島市役所 ・ 国土交通省木曾川上流 河川事務所 <p>【連携内容】</p> <p>近藤氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水屋など、昔の水害防 止対策についての説 明 <p>横山氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪中の役割、逆川排水 機場の効果について 説明 <p>岐阜土木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 境川排水機場の効果に ついて模型により説明 <p>羽島市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水防団の役割、水防活 動時に使用する用具 類の説明 <p>国土交通省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 境川排水機場の役割に ついて説明 	

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾、藤井孝和	内 線	3 3 7
支援校名	羽島市立小熊小学校	担当教員名	大橋先生	対象学年	4年生

【事例概要】
 体験学習の実施
 学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか
 テーマ「低地の人々の暮らしを守る施設を調べよう」
 ①水屋の見学:水害から村を守る取り組みについて説明。
 ②旧輪中堤の見学:輪中の役割について説明。
 ③排水機場(逆川排水機場)の見学:排水機場の概要、沿革について説明
 ④水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学:水防団の役割、水防道具等の説明
 ⑤排水機場(境川排水機場)の見学:排水機場の施設内容および効果について説明の後、実際にポンプのエンジンを起動

【工夫した点、苦労した点】
 ・学習場所の選定に際し、子供達の関心を高められるよう、できるだけ身近である小熊校区内にあるものを見学するよう考慮した。また、説明者は地元在住で子供達になじみの深い「ふるさと先生」を主とした。

【子どもたちの反応】
 ・自分たちの住んでいる地域でも昔はたくさん洪水があり、堤防や命塚を作り避難していたことを知り、昔の人々は大変だったんだなあと感じた。
 ・周りより少し高くなっているところなど、今も輪中の跡が残っていることに驚いた。
 ・水屋の石垣が2m60cmもあり、こんなところまで水が来たのかと怖くなった。
 ・水防倉庫にはいろいろな道具があること、水防団の人たちが毎年訓練を行っているという話を聞き、私たちの暮らしを守ってくれているんだと思った。
 ・排水機場の規模の大きさに驚いた。こういった大きな施設で水害がなくなってきたこと、自分たちの暮らしが守られていることを実感した。

【学校関係者からの意見】
 ・実際に見て話を聞くことにより内容をよく理解でき、有意義な活動であった。
 ・普段見られない排水機場や水防倉庫の見学、関係者の話などによりこういった施設によって自分たちの暮らしが守られていることが実感できた。
 ・地域講師の方々にも経験でわかりやすく語っていただいた。

【今後の課題・課題への提案】
 ・内容を盛り込みすぎて時間が足りなかった。見学地の絞り込み等が必要。

【担当者として得たもの】
 ・この授業において見学した施設は子供達にとって普段目にするものがない施設ばかりであり、高い関心が感じられました。



《水屋の見学》
 昔の人々の、水害から身を守る取り組みについて学びました。



《水防倉庫の見学》
 水防団の役割について学びました。



《境川排水機場の見学》
 排水機場の効果について学びました。

報告様式①

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	石井伸吾・黒田秀威	内線	336
支援学校名	岐阜市立本郷小学校	Tel.	058-251-0603
担当教員名	柳原先生		
対象学年	5年生 58名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	10月20日(月) 学習内容の打合せ (学習計画の確認)		
11	11月11日(水) (16:00~16:30) 施工業者と事前の実験場確認 11月19日(木) (9:40~11:40) 学習場所:本郷小学校教室及びグランド テーマ:「川をもっと知ろう!」 学習内容:①学習を始める前に ②水の害から暮らしを守る ③実験 水の害を防ぐには	【機関・団体名】 施工業者 【連携内容】 模型の設置及び実験の 実施	
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	石井伸吾・黒田秀威	内 線	336
支援校名	岐阜市立本郷小学校	担当教員名	柳原先生	対象学年	5年生

【事例概要】

11月19日(木) 9:40~11:40

「川をもっと知ろう！」

学習場所：本郷小学校教室及びグランド

- ①長良川の川の様子をしる。
- ②過去の水害や治水事業を紹介
- ③実験 水の害を防ぐには

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 子供達に授業への興味を持ってもらう事と、来年開かれる「豊かな海づくり大会」のPRを兼ねて、大会マスコットの「ヤマリン」に登場してもらった。結果、子供達は大変喜んでくれてその後の授業も積極的に参加して頂けた。
- ・ 子供たちが理解しやすいように航空写真や石の大きさを示したパワーポイントを作成した。
- ・ 一方的に説明するのではなく、対話形式とすることにより、積極的に子供達も参加してくれて、活発に答えて頂けた。
- ・ 使用する写真は、県内土木事務所や市町、国土交通省に依頼して、提供をお願いした。
- ・ 校区内に排水機場があるため、排水機場模型を見せることとで、子供達の興味がふくらんだ。
- ・ 当区域を流れる長良川は管理区間でなかったが、国土交通省に協力頂き、近辺で実施している工事写真などで説明を行った。

【子供達の反応】

- ・ 生き生きと授業に参加して頂き、とても楽しそうな雰囲気が進められた。
- ・ 室内でも、積極的に手を挙げてもらえ、実験でも、積極的に実験に参加して頂けた。
- ・ 生き生きとした子供の様子が感じられた。

【学校関係者からの意見】

事務所の方々がとてもよく理解して頂き、学校では準備できないような装置も準備していただけて、とても感謝しています。是非また協力して頂きたいと思っております。ありがとうございました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 身近な話題を提供することが、子供達の興味もわき理解度も高まると思われる。

【担当者として得たもの】

子供の目線での資料作成により、人へ説明する上での留意事項を再確認した。



(ヤマリン登場)

「豊かな海づくり大会」マスコットの「ヤマリン」登場に子供達は大喜び。



(長良川の様子や過去の災害の説明)

川の働き、河川用語、治水、長良川の概要などを写真や絵を使って学びました。



(工事前後の模型実験)

工事前と工事後の模型により水が溢れる時間や砂の動き方を実験しました。

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	石井伸吾・黒田秀威	内 線	336
支援校名	岐阜市立本郷小学校	担当教員名	柳原先生	対象学年	5年生

【新聞記事等】

「テレビ」

総合学習支援の様子が、「ぎふチャン」にて、当日(平成21年11月19日(木))の18時15分からの放送で紹介された。

「新聞」



岐阜土木
「川を知ろう」で
小学5年生に出前講座

岐阜県岐阜土木事務所は19日、岐阜市立本郷小学校の5年生58人を対象に「もつと川を知ろう」をテーマに出前講座を開催した。写真。同事務所は2001年度から岐阜地域の小中学校で総合学習の支援を行ってきた。今回は、同事務所河川砂防課の石井技術主任が講師になり岐阜市内などを流れる長良川を題材に、郡上市の源流の様子や過去に発生した水害、河川工事が果たす役割などをパワーポイントを使って説明した。

その後、生徒たちは河川工事の効果や排水機場の働き、環境保全ブロックの透水性などについて模型を使って学習した。

生徒たちは、川幅の広さにより水があふれる時間が違ったり、環境保全ブロックから水が流れる様子をしっかり観察し学習ノートに書きつけていた。

平成21年11月25日(木) 建通新聞

※この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤原 雅司	内線	373
支援学校名	海津市立下多度小学校 海津市立東江小学校	Tel.	0584-57-2109 0584-53-0211
担当教員名	下多度小学校 馬淵弘子先生 東江小学校 富田生美先生		
対象学年	下多度小学校3年生24名 東江小学校4年生19名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 海津市役所建設課	
5		【連携内容】 海津市役所	
6	6月24日(水) 下多度小学校及び実施予定箇所にて学習 内容の詳細打合せ(学習場所、学習手順、 安全確認等) 6月29日(月) 野外学習 9:00~11:40 学習場所:津屋川(志津橋付近) テーマ「川にすむ生き物を見つけよう」 ①川のお話 ②川の姿を観察しよう ③川にすむ生き物を見つけよう ④川に感謝しよう(ゴミ拾い) ⑤生き物の種類分け ⑥子供たちによる発表	・除草 ・安全管理 ・各班の指導	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	373
支援校名	下多度小学校 東江小学校	担当教員名	馬淵、富田先生	対象学年	3、4年

【事例概要】

6月29日(月) 9:00~11:40 野外学習

学習場所:津屋川

テーマ「川にすむ生き物を見つけよう」

- ①川のお話
- ②川の姿を観察しよう
- ③川にすむ生き物を見つけよう!
- ④川に感謝しよう(ゴミ拾い)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 水位がなかなか下がらず、中止の判断が難しかった。
- ・ 2校かつ学年の違う生徒達が、交流し協力出来るように実施した。
- ・ 各班に指導者を付け、安全管理に努めた。

【子供達の反応】

- ・ 津屋川で有名なハリヨを捕まえることができずに残念がっていた。
- ・ 身近な津屋川をもっときれいにしたいという意見が多かった。
- ・ こんなにたくさんの生き物がとれるとは思っていなかったようで、その種類にも驚いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 水が非常に貴重な資源であることをわかりやすく話していただき、川の水の大切さを子供たちが理解できたと思う。
- ・ たくさんのスタッフの体制で、安全面に非常に気を使って頂きありがたく思う。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 近年この時期の津屋川の水位が高く、実施可能水位になかなかならない。時期を見直すべきかもしれない。
- ・ 生物の同定ができるスタッフが少なく、個々のスキルアップが必要と考える。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の話をしたが、子供達が理解出来るように話すことは非常に難しいことがわかった。



《川にすむ生き物を見つけよう》
スナヤツメ、めだか、シマドジョウ、ウキゴリ、ドンコなどを見付けました。



《川に感謝しよう》
ビン、ビニール袋などたくさんのゴミを拾いました。



《生き物の種類分け》
みつけた生き物を種類ごとにわけて、津屋川にどんな生き物がいたか調べました。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	373
支援校名	下多度小学校 東江小学校	担当教員名	馬淵、富田先生	対象学年	3、4年

【新聞記事等】

津屋川にすむ生き物を調査
海津市の2小学校児童
ふるさとの河川環境に理解を深めようと、海津市の小学校2校の児童が、同市南濃町志津の津屋川で、川にすむ生き物の生態観察に取り組んだ。
大垣土木事務所の主催。下多度小(同市南濃町津屋)の3年生と東江小(同市海津町駒ヶ江)の4年生の計43人が参加した。
水着や体操服姿の児童たちは、たもあみで川底をすくったり、川岸に追い込むなどして素早く動き回る生き物を捕まえていた。
捕獲したのは、希少淡水魚のスナヤツメやザリガニ、メダカなど。児童たちは川の汚染度の目安となる生き物を分類して調べるなどし、川の大環境の大切さを実感していた。



平成21年7月1日(水) 岐阜新聞 県内版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

川の自然も大切
海津で観察会
海津市南濃町の津屋川で、川の生き物を探索する自然観察会が催された。
津屋川を管理する県大垣土木事務所が、川

を利用した総合学習の支援の一環に企画。同市の下多度小学校の三年生と東江小学校の四年生計四十三人が参加した。

子どもたちは川の中へ入り、メダカやヤゴ、ドジョウなどを見つけた。ヤツメウナギの一種で、県が準絶滅危惧種に指定しているスナヤツメも確認できた。川のごみ拾いにも取り組み、ふるさとの川への愛情を深めた。
(後藤厚三)



生き物を探索する児童ら。海津市の津屋川で

水の汚れびっくり
神戸児童が水質検査
神戸町南平野小学校で三日、環境学習講座があり、三、四年生計七十八人が生活排水など身近な水環境について学んだ。
県西濃振興局環境課の中村隆さんが来校。簡易水質検査キットを使い、児童が家から持ってきた生活排水の有機物の量などを計測した。
水の汚れ具合を確認した児童は「こんなに汚れているの」とびくり。中村さんは「家庭で使う洗剤などはなるべく減らすように」と呼びかけていた。
(川田篤志)

平成21年7月5日(日) 中日新聞 西濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 藤原 雅司	内線	373
支援学校名	水門川の川底学習会	Tel.	0584-73-1111
担当教員名	主催:大垣土木事務所、共催:水門川クリーン作戦実行委員会		
対象学年	水門川周辺の保育園～小学6年生 71名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 水門川クリーン作戦実行委員会	
5		【連携内容】	
6	6月19日(木) 実行委員会立ち上げ、前年の反省	市民グループによる水門川クリーン作戦の一環	
7	7月 2日(木) 実行委員会との「清掃範囲」打合せ 「宣伝チラシ」打合せ 7月16日(木) 実行委員会との「担当係分け」打合せ 7月24日(金) 実行委員会との現地チェック 7月25日(土) 野外学習 8:00～9:45 学習場所:水門川(新大橋東～貴船神社) テーマ「第8回 水門川クリーン作戦 ～ 水門川の川底学習会 ～ 」 ①水門川にどんな生き物がすんでいるかな? ②水門川クリーン作戦(ゴミ拾い) ③水門川にどんな生き物がすんでいたかな? ④結果発表会(発表及び感想) 7月30日(木) 実行委員会との反省会		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	373
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	—	対象学年	保育園～6年

【事例概要】水門川クリーン作戦関連イベント
 実施日 7月25日(土) 8:00～9:45 野外学習
 学習場所:水門川(貴船広場～新大橋上流間)
 テーマ「水門川の川底学習会」

- ①水門川にどんな生き物がすんでいるかな?
- ②水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)
- ③水門川にどんな生き物がすんでいたかな?
- ④結果発表会(発表及び感想)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 班が分かりやすいよう、また子供達も自分の班がすぐ分かるように、班毎に色の違うバッチを作り、子供達の胸や肩に付けさせた。
- ・ 当日の十人を超える飛び込み参加にも、対応した。
- ・ 水門川クリーン作戦との連絡調整や事前打ち合わせを約1ヶ月にわたり実施した。
- ・ 結果発表では、熱中症がおこらないように、簡潔な説明に心がけた。

【子供達の反応】

- ・ 曇りだったこともあり温度があまり上がらなかったため、最後まで子供達は元気に活動していた。
- ・ 川の清掃や水生生物の採取に積極的に取り組んでいた。
- ・ 親子参加が多く、終始楽しく活動していた。

【関係者からの意見】

- ・ クリーン作戦と同時にこのような学習会を開けることは、大変子供達の教育に良いことだと思う。今後も是非続けていきたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ クリーン作戦との時間調整があり、時間が押し気味であったため、実際の捕獲活動が少なく感じられた。タイムスケジュール通り進むように、受付等を時間で切る必要があると感じた。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供達はこのように川で生き物を捕まえることが潜在的に大好きであることが、よくわかった。このような機会をもっと提供できるようにしていきたいと思う。



《水門川にどんな生き物がすんでいるかな?》
 ボラ、モクズガニ、カマツカ、ヨシノボリ、マシジミなどを見付けました。



《水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)》
 水門川クリーン作戦の参加者と一緒に、空き缶など川に捨てられたゴミを拾いました。



《結果発表会(発表及び感想)》
 「もっと水門川をきれいにしたい」という感想がありました。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	3 7 3
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	—	対象学年	保育園～6年

【新聞記事等】



奉仕

水門川クリーン作戦
大垣市中心部を流れる水門川で、水をせき止めての大掛かりな清掃行事が催され、市民ら約700人が川の中に入り、ごみ拾いに汗を流した。写真。

市民団体や地域住民、行政による合同の恒例行事。ごみは計約2ト集まり、缶や瓶、ペットボトルのほか、ビニール傘や自転車もあった。清掃後には小学生を対象にした「川底学習会」を開き、モクスガニやヨシノボリ、ボラ、マシジミなどの生き物を観察した。

平成21年7月26日(日) 岐阜新聞 西濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。



水門川 700人で大掃除 大垣

大垣市の夏のイベント「水まつり」(8月6～9日)を前に、同市の中心部を流れる水門川の大清掃「クリーン作戦」が25日あり、ボランティア約700人が参加した。写真。流れをせき止め、川底に沈んでいた空き缶やペットボトルなどを拾い上げた。

水の恵みに感謝して「水門川クリーン作戦実行委員会」(加藤耕司委員長)が催す水都ならではの催しで、小学生の参加も多かった。約1時間に回収されたごみは約2トで、自転車1台もあった。捕獲した魚を調べる「川底学習会」も開かれ、コイなど7種の魚を確認。海からのぼってきたらしい小さなボラもいた。

平成21年7月26日(日) 朝日新聞 岐阜版

※この記事は、朝日新聞社の許諾を得て転載しています。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	373
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	—	対象学年	保育園～6年

【新聞記事等】

水門川のごみ約2トを回収
大垣で70人が参加

大垣市中心部を流れる水門川をせき止めて清掃する「水門川クリーン作戦」が二十五日、同川一帯で開かれた。写真。毎年恒例の行事で、市民団体や地域住民の計約七百人が参加。せき止められてひざ下ほどの水深にな



った川に入り、川底に沈んでいたビンや缶などを拾った。約一時間

活動中に見つけた生き物は、その後の学習会で披露。小学生約八十人が、ヨシノボリやモクスガニなど川の生き物を観察した。
(小椋由紀子)

平成21年7月26日(日) 中日新聞 西濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

700人で大掃除

大垣・水門川

大垣市中心部を流れる水門川で25日、子どもからお年寄りまで約700人が参加し、水門川クリーン作戦」が展開された。写真。今回で8回目。同時に川底学習会も開かれ、水門川に生息する魚など、生物を調査した。市中心部の活性化を図るNPO法人などでつくる実行委員会の主催。岐阜町の愛宕神社から馬場町の四季の広場までの四季の路約2・2キロ沿いの水門川や道路で活動。川の中か



ら空き缶や傘のほか、自転車や財布も見つかった。約1時間の活動で約2・1トのごみが拾い上げられた。途中の東外側町の貴船広場から西外側町の八幡神社までの約800人は水門川をせき止

め、川底学習会もあった。ボラやヨシノボリ、モスクガニなどが見つかった。しかし、昨年は見つかったアユやオイカワなどの姿はなく、捕獲数も少なかった。担当者たちは「市民の協力で水門川の水は年々きれいになっている。今年はごみの量も少なかったのだが。気候の関係なのか良く分からない」と話していた。
【子林光和】

平成21年7月26日(日) 毎日新聞 岐阜版

※この記事は、毎日新聞社の許諾を得て転載しています。

第8回「歩いて観よう 水門川クリーン作戦」

水門川の川底学習会

岐阜県大垣土木事務所

平成21年8月 発行

はじめに

7月25日(土)、大垣市の中心部を流れ、市のシンボルリバーでもある水門川において、「第8回 歩いて観よう 水門川クリーン作戦」が行われました。このクリーン作戦は今年で8回目、水門川の環境改善、市民の皆さんの環境意識の向上を目的として、「めざせ！ハリコが泳ぐ水門川」を合言葉に、水門川クリーン作戦実行委員会の主催により、普段は入ることのできない水門川をせき止め、浅瀬にした川で清掃活動を行うものです。行政、企業、ボランティア団体、一般市民、小中学生らが参加しました。

岐阜県大垣土木事務所は、クリーン作戦の一環として、市内の小中学生を対象に「水門川の川底学習会」を行いました。

川底学習会は、普段入ることができない貴船広場から新大橋間を利用して、水門川にどんな生き物や植物が生息しているか調査したり、川の中にどんなゴミがたくさん見られるか調査する学習会であり、調査した生き物や植物の結果から水門川の環境に気づき、子供たちの意見や想いを今後の川づくりに反映するものであります。

当日は、天候に恵まれ、多くの小学生たちが集まり楽しく学習することができました。

その様子をお伝えします。

学習メニュー「水門川の川底学習会」

- ・ 水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
- ・ 水門川クリーン作戦
- ・ 水門川にどんな生き物がすんでいたかな？
- ・ 学習会

・水門川にどんな生き物がすんでいるかな？

みんなで、どんな生き物がすんでいるのかを調べました。

子どもたちは、隠れている生き物たちを足でガサガサと探りながらタモ網に追い込んだり、逃げ出した魚を追いかけたりしていました。

何がいるかな～



・水門川クリーン作戦

魚を捕ったあとはみんなで川のゴミ拾いをしました。

年を重ねるごとにゴミも減ってきた様な気がしますね。

ごくろうさまです。

・どんな生き物がすんでいたかな？

子どもたちの捕まえた生き物から、水門川にどんな生き物がすんでいたのかを調べました。

今回は、ボラ・モズクガニ・カマツカ・ヨシノボリ・アメリカザリガニ・ミズムシ・ウキゴリ・マシジミなどの生き物が捕れました。

・学習会

捕った魚を集めてみんなで学習会を開きました。

こども達は自分達の捕った魚についてたくさんの疑問・質問を持ち熱心に話を聞いていました。

どんな生き物がいたかな



こんなお話をしました…

「普段は何気なく眺めているだけの水門川も実際に下に降りて調査するといろいろな事が見えてくる。」
「たくさんの生物が発見されたのと同時に、たくさんのゴミも見つかった。みんなの川を守るためにも、水門川に親しんでほしい。」

最後に…

天候も曇ってはいましたが、無事に「水門川の川底学習会」を開催することができました。

一年に一度このように川に実際入って体験することが本当に大切に子どもたちにとっては川を見つめ直す良い機会になったことと思います。

学習会や安全管理に協力してくださった多くのボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。

水門川で見られた生き物たち



ボラ



モズクガニ



カマツカ



ヨシノボリ



アメリカザリガニ



ミズムシ



ウキゴリ



マシジミ

問い合わせ先

岐阜県大垣土木事務所 河川砂防課（担当：藤原）

TEL：0584-73-1111（内線：373） FAX：0584-82-4960

報告様式①

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	川瀬 樹一	内線	374
支援学校名	養老町立上多度小学校	Tel.	0584-32-1604
担当教員名	近藤 きよみ 先生		
対象学年	4年生 29人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 ・養老町役場 ・国土交通省 越美山系砂防事務所	
5			
6	6月3日(水) 上多度小学校と打合せ(1回目)	【連携内容】	
7	・小学校と砂防に関する総合学習の実施について打合せを行い、担当教員から内容、実施方法等の要望を伺った。また学習会を10月6日(火)に決定した。	・養老町役場 学習現地まで移動する際の移動手段(バス)の手配。	
8		・国土交通省 越美山系砂防事務所 「土石流対策施設の説明模型」の借用。	
9	9月9日(水) 上多度小学校と打合せ(2回目)		
10	・総合学習の内容、実施方法、スケジュール(案)を説明し、担当教員に承諾を得た。		
11	10月6日(火) 9:30~11:50 「砂防」をテーマに、教室内及び小倉谷砂防施設を活用し砂防に関する総合学習を実施。		
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	川瀬 樹一	内 線	374
支援校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	近藤 先生	対象学年	4年生

【事例概要】

小学校の教室内で土砂災害の種類や特徴、身の守り方及び地域を守る砂防施設の役割について説明。

その後、学校の横を流れる小倉谷護岸工や上流の砂防堰堤を見学し、土石流対策施設模型を使って砂防施設の必要性や効果について学習した。

【工夫した点、苦労した点】

小学校中学年でも土砂災害の種類や特徴を理解できるように説明するため、アニメーションや土石流等の様子を納めたビデオ映像を活用したり、小倉谷の砂防施設を間近に見ながら、興味を持って学習が出来るように工夫した。

先生の要望を受け、総合学習の題材「地域の環境」に合わせ、小倉谷の地形的特徴や古くから砂防事業が実施されてきたことを写真や具体的な数値（時期・数量・金額等）で説明した。

また、砂防堰堤等の見学にあたっては、危険な箇所にはバリケードを設置し、安全確保に努めた。

【子供達の反応】

土砂災害を説明するアニメーションやビデオ映像に興味を持って見ていた。特に土石流やがけ崩れの映像には、驚きの声を上げていた。

現地にて「土砂災害対策施設模型」を使って砂防施設の効果を興味を持って実験していた。

【学校関係者からの意見】

子供たちは、土砂災害の恐ろしさに気づいたり、砂防の大切さを理解したりするなど、有意義な時間を過ごす頃ができました。

【今後の課題・課題への提案】

養老山地には土砂災害の恐れがある地域に位置する小学校が他にもあり、このような総合学習を展開できるとよい。

【担当者として得たもの】

砂防事業におけるソフト施策の対象は大人と考えがちであったが、小学生4年生でも十分に土砂災害・砂防について理解することができたようで、子供達も対象と考えることができるようになった。



教室にてパワーポイントを使って、土砂災害や砂防について学習



現地にて砂防堰堤の見学



「土石流対策施設模型」を使って砂防施設の必要性自ら実験し確認

報告様式①

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	田中 純世	内線	463
支援学校名	池田町立八幡小学校	Tel.	0585-45-3106
担当教員名	高橋先生, 山本先生		
対象学年	4年生 72名 2クラス		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 6	<p>6月上旬</p> <p>八幡小学校で野外学習内容の打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程の確認 ・ 実施内容(スケジュール)の確認 <p>6月18日 野外学習実施</p> <p>午前8:45~12:00</p> <p>学習場所: 杭瀬川(八幡小学校裏, 中川合流点下流)</p> <p>学習内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水質調査(COD) ② 生き物調査 ③ 生き物の判別 ④ 水のきれいさ判定 ⑤ まとめ 	<p>【機関・団体名】 野生生物保護推進員 國枝氏 岐大生(院生) 4名 河川工事を考える会 3名 揖斐事務所環境課 2名</p> <p>【連携内容】 講師・調査協力</p>	

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	田中 純世	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	高橋先生, 山本先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月18日(木)午前 総合学習

場所：杭瀬川

内容：水質調査, 生き物調査

子供たちの身近にある杭瀬川の水質及び生き物を調査し、川に慣れ親しんでもらう。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ クラス単位で上流(小学校裏)と下流(中川合流点下流)に分かれて、生き物の比較ができるようにした。
- ・ 深みなどの危険な場所を事前に確認し、ビニルテープで囲み、立ち入らないようにした。
- ・ 水質については、専門的知識を有する揖斐事務所環境課職員が主体となって行った。

【子供達の反応】

- ・ ナマズ、カワナナやイトトンボなどいろいろな生物を捕まえ見ることが出来てよかった。
- ・ このあたりにはどれくらいの種類の魚がいるの?など、興味・関心をもった。
- ・ 生き物から川の大切さがよくわかった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 捕まえた生き物の名前や見分け方を現地で教えていただき、子供たちは大変喜んでいました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 児童数に応じた指導者, 協力者が必要である。
- ・ 担当者においても、同定できるよう知識の習得に努めたい。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供たちとの生き物調査を通して、杭瀬川の多様性を改めて実感した。



《生き物調査》

たも網を使って、水生生物を捕まえています。



《捕まえた生き物の判別》

捕まえた生き物の名前を調べています。



《まとめ》

水質、生き物の調査結果をみんなで話し合っています。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	田中 純世	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	高橋先生, 山本先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】



杭瀬川「水質きれい」

カワニナなど確認

池田町八幡小児童が生物調査

池田町八幡の八幡小学校4年生72人が、水質・生物調査「カワゲラウオッチング」を同小近くの杭瀬川で行った。調査は揖斐土木事務所の協力で、総合学習の一環として実施。水生生物の調査を通して、環境保全に理解を深めるのが狙い。環境省希少野生動物種保存推進委員の国枝久夫さんが指導した。児童らはたもを手に

川に入り、約30分でナマズやカワニナ、イトトンボなど11種類の魚と約10種類の昆虫を確認。学校周辺の杭瀬川は水質がきれい、自然環境豊かな川である

ことを学んだ。
(土屋健一)

たもを手に水生生物を探す児童たち
池田町八幡、杭瀬川

平成21年6月24日(水) 岐阜新聞 西濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	広瀬 隆男	内線	341
支援学校名	揖斐川町立揖斐川中学校	Tel.	0585-22-1265
担当教員名	山本 先生		
対象学年	1年生 124名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4	4月10日 揖斐川中学校より東横山地区の地すべり対策工事を総合学習の題材として見学会を実施したい旨依頼あり	【機関・団体名】 【連携内容】	
	4月27日 揖斐川中学校にて支援内容の確認		
5	5月7日 工事見学会実施(対策工事の概要説明) ・前半クラス 8:20~8:50 (61名) ・後半クラス 12:30~13:00(63名)		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	広瀬 隆男	内 線	3 4 1
支援校名	揖斐川町立揖斐川中学校	担当教員名	山本先生	対象学年	1 年生

【事例概要】

5月7日(木)

工事見学会実施(対策工事の概要説明)

- ・前半クラス 8:20~8:50 (61名)
- ・後半クラス 12:30~13:00 (63名)

【工夫した点、苦労した点】

・説明に際しては、崩壊土砂量をダンプカー台数で、崩壊高さを徳山ダムと比較するなどし、単なる数字のみでなく出来るだけ学生がイメージし易い例えを使用した。

【子供達の反応】

・他の場所で起きる可能性や、地すべりの一番の原因はなどの質問があった

【学校関係者からの意見】

・「百聞は一見にしかず」という言葉のとおり、生徒にとって、自然災害の恐ろしさやその対策の必要性など地すべり後の復旧工事を通して山の安全が保たれ、揖斐川の環境が人の手によって守られていることを学ばせてもらうことができた。

【今後の課題・課題への提案】

・より興味を持てるように崩落時の映像を見せるなど、資料を上手く活用することが必要

【担当者として得たもの】

・生徒に説明する上で、改めて地すべりについて学ぶ機会を得た。



工事概要説明(午前の部)



工事概要説明(午後の部)



工事概要説明

所属	河川砂防課 河川砂防担当	氏名	広瀬 隆男	内線	341
支援校名	揖斐川町立揖斐川中学校	担当教員名	山本先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】



大規模災害に驚き

揖斐川 中学生が工事見学

揖斐川町揖斐川中の日、三年前に大規模な一年生百二十四人が七、土砂崩れを起こした町

日に始める。定員は一三万の人数を誇る。前回、選手と応援の人数は、全国でもトップだった。(中山道雄)

現場は、二〇〇六年五月の豪雨で、約五万立方メートルの土砂が流れ出た同町東横山の揖斐川沿い。生徒は二組に分かれて現場を訪れ、県土木事務所職員から災害の規模や工事の概略などを聞いた。

生徒たちは長さ百六十五メートル、幅百五十メートルという大規模な地滑りの様子に驚きながらも、じっくり見学。「ほかの場所で見学する可能性はあるのか」「地滑りの一番の原因は何か」などと質問していた。同町の徳山ダムも見学した。

災害現場の対策工事は、本年度中に完了する見込み。(岡本太)

土砂崩れの原因や対策工事についての説明を聞く生徒―揖斐川町東横山で

平成21年5月8日(金) 中日新聞 西濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

2009年(平成21年)5月8日 金曜日

地滑り対策現場を見学

揖斐川中の生徒124人

左 揖斐川 暮らしを守る工事に理解

揖斐川町和田の揖斐川中学校の一年生百二十四人が七日、同町東横山の地滑り対策工事の現場を見学。県土木事務所職員の案内

揖斐川町和田の揖斐川中学校の一年生百二十四人が七日、同町東横山の地滑り対策工事の現場を見学。県土木事務所職員の案内

上流の徳山ダムも見学した。現場の揖斐川左岸は二〇〇六(平成十八)年五月、地滑りで幅約百五十メートル、高さ約百三十五メートルにわたり崩壊し、約五万立方メートルの土砂で川の半分が埋まった。本年度内に対策工事が完了する予定。

土木事務所職員が、直後の応急排水工事や再発防止のための護岸工事などを説明。生徒は現場を見上げ、「もう崩れる心配はないですか」「工事には何人がかかりますか」など熱心に質問し、理解を深めていた。(土屋健一)

地滑り対策工事の現場を見学し、防災への理解を深める生徒ら―揖斐川町東横山

平成21年5月8日(金) 岐阜新聞 西濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立牧谷小学校	Tel.	0575-37-0005
担当教員名	後藤 英華 先生		
対象学年	5年生 26名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5	1日 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 18日 小学校より支援依頼 21日 小学校にて打合せ 22～28日 電話等にて内容および最終日程調整 27日 博物館千藤先生と打合せ 派遣依頼	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 3日 板取川において総合学習(カワゲラウォッチング)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	後藤英華先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

日時 6月3日(水) 午後
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 板取川(蔵生大橋上流付近)

【工夫した点、苦労した点】

- ・雨天が心配であったが、河川の増水の心配がなかったため、千藤先生の助言もあり、学校の判断で実施した。記録用紙が濡れて記入がたいへんそうだった。
- ・児童への説明など、専門用語が出てしまうこともあり、伝え方の難しさを感じた。

【子供達の反応】

- ・捕まえ方を教えてもらい、どの児童も捕まえられたので満足していた。
- ・身近な川がきれいだとわかって嬉しく思う児童が多かった。
- ・自分たちで川をきれいにしていこうという意欲を持つことができた。
- ・夏になったら自分たちで水生生物を探したいという児童も多くいた。

【学校関係者からの意見】

・捕まえても水生生物の種類がわからない児童がほとんどであり、1グループずつ丁寧に教えていただけだったので、児童は満足していた。また、しっぽでの見分け方がよくわかったようであった。教師では、とても教えることができないので、とてもありがたかった。

【今後の課題・課題への提案】

・児童に対する説明になれていないこともあり、言葉や話し方など、伝える能力の向上が必要である。

【担当者として得たもの】

- ・はじめてカワゲラを捕まえて愛着を感じた。
- ・児童の反応や、一緒になって生物を捕まえることの楽しさがわかり、総合学習支援活動のとりくみに意欲がわいてきた。



講師になって採捕中



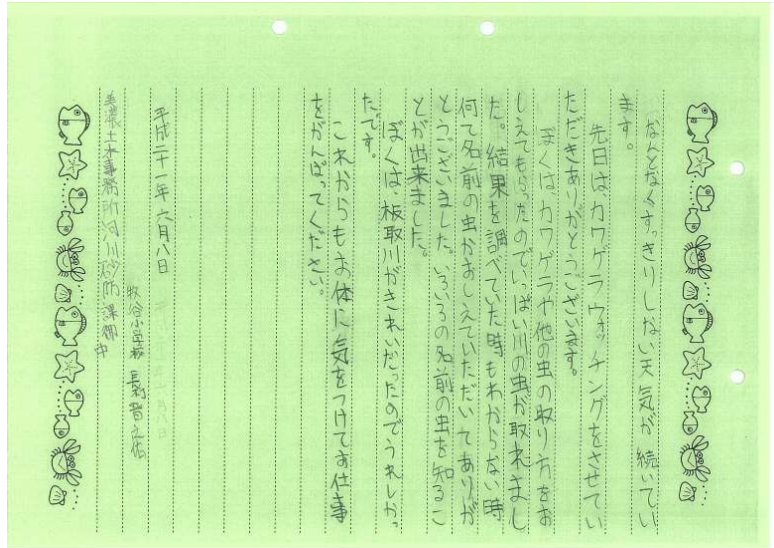
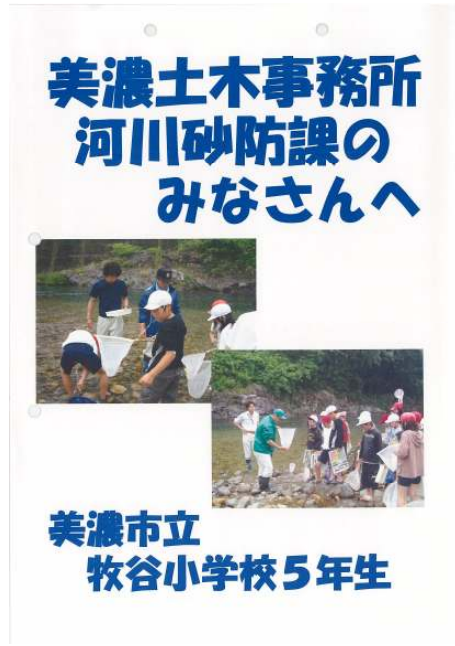
小雨の降る中協力しての同定作業



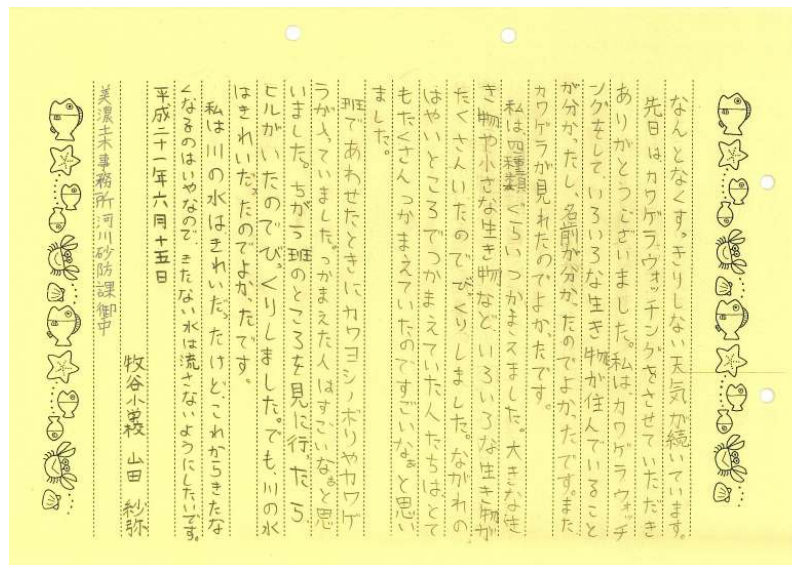
カワゲラゲット!

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	後藤英華先生	対象学年	5 年生

【新聞記事等】



児童のみなさんからお礼の手紙をいただきました。



報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立藍見小学校	Tel.	0575-33-1116
担当教員名	榎井 美保子 先生		
対象学年	4年生 28名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5	1日 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 15日 小学校より支援依頼 20~28日 電話等にて日程調整および講師手配	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	1日~4日 電話等にて授業内容の打合せ 2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 5日 漁協同意 8日 小学校にてパックテストの授業の最終打合せ 9日 総合学習(パックテストの授業) 水生生物調査箇所事前調査 11日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 24日 生物調査実施箇所について変更等調整 26日 小学校にて最終打合せ 実施箇所現地調査		
7	1日 渡来川において総合学習(水生生物調査)		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立藍見小学校	担当教員名	榊井美保子先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 6月9日(火)午前
 内容 総合学習(パックテストの授業)
 場所 藍見小学校

日時 7月1日(火)午後
 内容 総合学習 水生生物調査
 場所 渡来川(テクノパーク付近)

【工夫した点、苦労した点】

・パックテストについて、4年生のレベルにあわせたわかりやすい説明の仕方に苦慮した。

【子供達の反応】

- ・パックテストによるCODの違いや、水の汚れが魚など水生生物に影響を及ぼすことを知り、驚いている子がほとんどでした。また、コーヒーのほんの少しの残りでも、川に流れるとすごい水の汚れになることもびっくりし、川をきれいにしたいなあという気持ちを高めていました。(学校より)
- ・川で魚捕りを初めて行う子もみんな生き生きと活動ができました。(学校より)
- ・全員が夢中で生物を捕まえていた、調査の終了をととても残念がっていた。

【学校関係者からの意見】

・身近な渡来川が、きれいな川であること、非常にたくさんの水生生物がいることなども学習できました。捕まえた水生生物のうち魚類は、今も世話を続けています。これからも世話を続けながら、さらに川や水や環境について、学習を深めていきたいと思っています。

【今後の課題・課題への提案】

・パックテストの授業では、濃度調整を誤って、うまく結果が出せなかったものもあり、事前の準備、演習が足りなかった。

【担当者として得たもの】

・ちょうど4年生の娘のおかげで、どの程度の内容が理解できるかを考えて、説明内容を分かりやすく改善することができた。



パックテストの授業



投網の実演に興味津々



水泳!? 生物調査! 深みまで元気よく

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立藍見小学校	担当教員名	榎井美保子先生	対象学年	5 年生

【新聞記事等】



児童の皆さんからお礼のお手紙をいただきました。

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立金竜小学校	Tel.	0575-28-2303
担当教員名	山田 薫 先生		
対象学年	4年生 123名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員 関市生活環境課 関市土木課	
5	1日 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 14日 小学校より支援依頼 15～26日 電話にて日程調整および講師手配 27日 博物館千藤先生と打合せ	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	5/27～6/1 電話等にて実施内容打合せ 2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 5日 漁協同意	用具貸し出し 採捕指導	
7	11日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 12日 実施箇所の選定、小学校にて最終打合せ 15日 関市生活環境課と用具貸し出しについて打合せ 17日 降雨による増水状況調査 18日 津保川において総合学習(カワゲラウォッチング)		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	関市立金竜小学校	担当教員名	山田薫先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 6月18日(木)午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 津保川(百年橋付近)

【工夫した点、苦労した点】

- ・児童数が多く、実施箇所の選定に苦慮した。
- ・採捕指導の人数確保のため関市土木課にも協力していただいた。
- ・実施箇所について下見し、除草を実施した。
- ・前々日までかなり降雨があり、増水の影響をみながら、当日まで実施の判断に苦慮した。

【子供達の反応】

- ・初めて見たり触ったりする虫や魚に、驚いたり喜んだり、元気よく調査できた。
- ・昨年、「少したない川」であった結果が今年は「きれいな川」となり、非常に喜んでいた。
- ・またやりたいと思った児童がたくさんいた。

【学校関係者からの意見】

- ・準備から、当日の安全、道具の準備など、お世話になりました。子供たちはとっても楽しんで、よい思い出がたくさんできました。川の生物や美しさに興味を持った子もたくさんいました。
- ・活動後、子ども達一人ひとり新聞を書いてまとめました。学習を通して「川に生息する生き物について調べたい」「長良川についてもっと調べたい」「きれいな川を守るためにどうしたらよいかを調べたい」などの課題を持つことができました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・集合、説明場所について講師との意志の疎通が不十分で、集合後に一端移動する事態となり時間をロスした、人数の多い時には特に、説明場所について入念な打合せが必要であった。
- ・説明の声がいきわたらなかつたため、注意をそらす児童がみられた、人数が多い場合には、スピーカー等の使用も検討した方が良かった。

【担当者として得たもの】

- ・若干水位が高くて、こどもたちは元気に調査できる。人数が多く、講師に頼ってばかりもいられず、職員の意識も高まった。



調査方法の説明

日差しを避け、百年橋下でやり方の説明



調査実施中



班で協力して同定記録中

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立中有知小学校	Tel.	0575-33-1115
担当教員名	溝下 美奈子 先生		
対象学年	4年生 48名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5	1日 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 15日 小学校より支援依頼 20～28日 電話等にて日程調整および講師手配	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 2日～5日 電話等にて場所、時間等の最終調整 5日 漁協同意		
	11日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 19日 実施箇所現地調査、小学校にて最終打合せ 23日～24日 講師打合せ 26日 小俣川において総合学習(水生生物調査・カワゲラウォッチング)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立中有知小学校	担当教員名	溝下美奈子先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 6月26日 午前

内容 総合学習

(水生生物調査・カワゲラウォッチング)

場所 小俣川

【工夫した点、苦労した点】

- ・川へ入る際の安全面に配慮し除草を行った。
- ・天候が良すぎて同定の際にとっても暑かった。日差しとアスファルトの照り返しによる暑さに配慮し、とりまとめを教室にて行うよう切り上げた。

【子供達の反応】

- ・深みから植生の間から広範囲に渡り熱心に生物を採捕していた。最初は消極的であった児童も次第に夢中になり、調査時間の終了をみんなで残念がっていた。
- ・小俣川をきれいにするために今後の取組について意欲をもっていた。

【学校関係者からの意見】

- ・児童と一緒に個別に声をかけていただいたので、どの児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・指標の生き物について資料を見せながら説明していただけたので、よくわかった。児童だけでは捕獲が難しい生き物もみせてくださったので、多様な生き物が住んでいることを実感できてよかった。
- ・小俣川がやや汚い川であるとわかったので、今後の「川を美しくするための次の活動」へとひろげていきたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・小学校近辺では両岸ともアスファルト舗装の道路となっているため好天時には、熱射病なども心配される。十分な調査を行うため、春、秋の調査を推奨してはどうか。

【担当者として得たもの】

- ・児童の感想より、身近な川を「きれいにしたい」との意欲が高まっていたことは、担当としても非常に喜ばしく、やりがいを感じる。



積極的に調査、時間がたりないよお



暑い中の同定作業



水生生物の解説

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立美濃小学校	Tel.	0575-33-1113
担当教員名	美濃羽 誠 先生		
対象学年	4年生 83名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5	1日 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 15日 小学校より支援依頼 20~28日 電話等にて日程調整および講師手配	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 2日~8日 場所、時間等の最終調整 5日 漁協同意 11日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 16日 講師打合せ		
7	1日 実施箇所調査、小学校にて最終打合せ 7日 増水状況調査、増水により調査延期の調整 14日 長良川において総合学習(水生生物調査・カワゲラウォッチング)		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	美濃市立美濃小学校	担当教員名	美濃羽誠先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 7月14日(火)午後
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 長良川(旧美濃橋付近)

【工夫した点、苦労した点】

・出水後の長良川であったため生物が捕れない恐れがあった、植生のある箇所を調査範囲に含めて、生物が捕まえられるようにした。少し深めの普段から川底である場所では無事に捕まえることができていた。

【子供達の反応】

・人数が多く心配していたが、先生方の協力もあり、みんながきちんと説明を聞いてくれていた。
 ・調査の終了をととても残念がって、いつまでも川に入っていたいようであった。

【学校関係者からの意見】

・「私たちの住む美濃市を美しくしよう」という大きなテーマのもと、河川の環境を守る活動を中心に行っている。その中の一つの活動として「カワゲラウォッチング」を行った。子ども達にとって、普段よく見たり遊んだりする長良川だが、意外と環境面からは無関心であった。今回の活動を通して、この長良川がきれいな水であることを改めて確認でき、きれいな川をこれからも守っていこうという意識を高めることができた。

・河川のきれいさを調べる方法は他にもあるが、方法や場所を検討していく中で、今後の活動につなげていきたいと思う。

【今後の課題・課題への提案】

・長良川での調査で、場所も事故の多いところなので、安全面に特に配慮する必要がある。併せて水難事故等に対する勉強の時間ももてると思った。

【担当者として得たもの】

・児童数が多かったが、先生の協力もあり、無事に終わることができた。調査結果のまとめの指導ができた。



採捕の様子



同定中



結果のとりまとめ

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立安桜小学校	Tel.	0575-22-5421
担当教員名	栗本 直哉 先生		
対象学年	4年生 83名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員 関市生活環境課 関市土木課	
5	1日 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 12日 小学校より支援依頼 15～28日 電話等にて日程調整および講師手配 27日 博物館千藤先生と打合せ	【連携内容】 講師、採捕指導 用具貸し出し 採捕指導	
6	5/29～6/2日 電話にて実施内容打合せ 講師日程調整 2日 長良川中央漁協と魚類の採捕について打合せ 5日 漁協同意 9日 小学校にて詳細打合せ 岐阜県博物館講師派遣依頼		
7	11日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 15日 関市生活環境課と用具貸し出しについて打合せ 19日 電話等にて実施箇所の選定、集合場所打合せ 23日 降雨による増水のため10日に延期		
8	9日 10日カワゲラウォッチングの延期を協議 10日 降雨の増水が予想されたため再度延期 23日～28日 講師日程再調整		
9	6日 小学校と日程等の打合せ 12日 岐阜県博物館講師派遣再依頼		
10	11日 関川にてカワゲラウォッチング		
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	関市立安桜小学校	担当教員名	栗本直哉先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 9月11日(金)午後
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 関川(関鍛冶伝承館付近)

【工夫した点、苦労した点】

・児童数が多く関市土木課にも協力していただき採捕指導の人数を確保した。

【子供達の反応】

- ・以前の調査結果から川の水質について予測していた。
- ・自分なりの考えをもって川の水質を考えていた。
- ・協力して同定作業をがんばっていた。

【学校関係者からの意見】

- ・用具の準備を初めとし学習の便をはかっていたが、ありがとうございました。
- ・子ども達は、関川の水生物を楽しく観察することで、環境に対する意識を高めていけたと考えます。

【今後の課題・課題への提案】

・児童数、グループの数が多かったが、同定作業で千藤先生に頼らざるをえない部分が多かった。職員のスキルを上げる必要がある。

【担当者として得たもの】

・調査前の水質の予測など、支援の進め方を千藤先生から学ぶことができた。



自分なりの考えで事前に水質を予想



手狭ではあったが、元気よく採捕中



班で協力して同定作業ができた

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立富野小学校	Tel.	0575-29-0005
担当教員名	岩屋 美穂 先生		
対象学年	5年生 17名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5	1日 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 18日 小学校より支援依頼 19～26日 電話等にて日程調整および講師手配 27日 博物館千藤先生と打合せ	【連携内容】 講師、採捕指導	
6			
7			
8			
9			
10	2日～7日 小学校日程、講師日程調整 津保川漁協と魚類の採捕について調整 7日 漁協同意 8日 岐阜県博物館講師派遣依頼 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 小学校にて最終事前打ち合わせ 現地確認 14日 小野川にてカワゲラウォッチング		
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	関市立富野小学校	担当教員名	岩屋美穂先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 10月14日(水)午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 小野川(津保川合流前付近)

【工夫した点、苦労した点】

・児童の安全と調査の効率を考慮し、総合学習実施にあわせて、河川の除草を実施した。その際、昨年度の反省を生かし、水際の植生を残して、水生生物の隠れ場を確保しておいた。

【子供達の反応】

・水温がやや低かったものの、子どもたちは夢中になって生物を採取し、観察することができた。学習の振り返りを教室に入って行ったことは、落ち着いて考察することができてよかった。
 ・自分たちで積極的に生物のいそうな所を考えて捕まえていた。
 ・女の子も積極的にウシガエルに触って喜んでいたのでビックリした。

【学校関係者からの意見】

・採取する生物が水生昆虫中心ということで、子供が興味を持つか少し心配していましたが、初めに水生昆虫についての説明をいただき、きちんと目的を持って活動することができました。学習をする前、小野川は「すごくきれい。」だと子どもたちは思っていました。採取した昆虫の種類から、「少し汚い。」との判定が出て、驚いていました。下水もほとんど完備されており、その原因は分かりにくいのですが、ふるさとの川を美しくしたいという思いをこれからの自分の生活に還元できる子どもになるように、今回学んだことを価値づけていきたいと思いました。ありがとうございました。

【今後の課題・課題への提案】

・下水も完備されているとのこと、「少し足りない」となった原因について考えて行ける。考える時間も作れるとよかったと思う。

【担当者として得たもの】

・だいぶ余裕もできて、課題などがみえるようになってきた。



説明を一所懸命聞いていた



どんなところに生物がいるか考えて捕まえていた



ウシガエルでか！

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立武儀中学校	Tel.	0575-49-3062
担当教員名	河村 雅人 先生		
対象学年	1年生 27名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5	1日 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 18日 小学校より支援依頼 19～26日 電話等にて日程調整および講師手配 27日 博物館千藤先生と打合せ	【連携内容】 講師、採捕指導	
6			
7			
8			
9			
10	2日～7日 講師日程調整 津保川漁協と魚類の採捕について調整 7日 漁協同意 8日 岐阜県博物館講師派遣依頼 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 9日 中学校にて最終事前打合せ 現地確認 16日 津保川にてカワゲラウォッチング		
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	関市立武儀中学校	担当教員名	河村雅人先生	対象学年	1 年生

【事例概要】

日時 10月16日(金)午後
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 津保川(武儀中学校付近)

【工夫した点、苦労した点】

・小学校でカワゲラウォッチングを経験済みの生徒が多く、中学生向けにレベルを上げた内容を依頼された、千藤先生の協力を得て、津保川の上流から下流の小学校の調査結果を踏まえて川の水質について考える活動となった。

【子供達の反応】

・上流域での川での活動時期としては少し遅かったようで、川の水が冷たく、調査場所も日陰のため寒そうであったが、一所懸命取り組んでいた。

【学校関係者からの意見】

- ・もっと早い時期に行い、昨年度行った着衣水泳もできるとよった。
- ・千藤先生による的確な指導があったため、学習をスムーズに進めることができた。
- ・千藤先生が用意された資料により、武儀地区だけでなく津保川全体の汚れの傾向やその中での武儀地区の位置づけなど、小学校の時より質の高い学習になった。
- ・もっと意図的に、これまで学習した森林の役割とかがかわらせて、川の学習に臨むべきであった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・上流域のため、暖かい時期や時間に調査を実施した方がよい。
- ・時間的余裕が足りないが、「海づくり大会」の意義など関連づけて支援できればよかった。

【担当者として得たもの】

・千藤先生には流域の過去からの調査結果をまとめた資料により説明いただき、上下流の関係、経年変化もとらえることができた。



ちょっと寒いけどがんばって同定作業



一所懸命の同定作業



調査結果のまとめ解説

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立洞戸小学校	Tel.	0581-58-2024
担当教員名	山田 秩功 先生		
対象学年	4年生 13名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5	1日 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査 11日 小学校より支援依頼 20～29日 電話等にて日程調整および講師手配 板取川上流漁協との調整	【連携内容】 講師、採捕指導	
6	5日 漁協同意 8日 県漁業調整規則にもとづく特別採捕許可 11日 天候により延期		
7	23日 電話にて日程調整		
8			
9			
10	21～22日 電話等にて最終打合せ 講師日程調整、打合せ 27日 板取川にてカワゲラウォッチング		
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋君治	内 線	3 2 2
支援校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	山田秩功先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 10月27日(火)午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 板取川(洞戸橋付近)

【工夫した点、苦労した点】

・時期的に遅くなったので、寒さや、生物が捕れるかがとても心配であった。

【子供達の反応】

・寒さをものともせず、積極的に川の中のいろいろな状況の箇所で、生物を捕まえていた。
 ・調査終了を早く感じていたようで、まだまだ、捕まえていたいと、残念がっていた。

【学校関係者からの意見】

・数年来カワゲラウォッチングを実施してきたが、川全体に児童全員が入って調査することは初めてであり、児童にとってとてもいい体験になった。
 ・水生生物について専門知識をもって説明していただけだったので、種類が分かってとてもありがたかった。

【今後の課題・課題への提案】

・どこの調査にも共通して、児童が川に入っている時間を長くとるようにはしているが、毎回、調査終了を残念がる姿を見て、もう少し調査時間がとれるといいと思った。
 ・秋のカワゲラはとてもサイズの大きな種類が捕れるので、9月初旬程度の寒くなる手前ぐらいがいい時期ではないか。

【担当者として得たもの】

・カワゲラのサイズの大きさに驚いた。
 ・専門家の助言もあり、どのような箇所に生物が多いか、カワゲラが生息しているか、よく分かった。
 ・回数もかさね、よく捕れる水生生物については、おおむね同定できるようになった。



どの子も一生懸命捕まえた



いろいろな状況の箇所でも捕まえた



協力して同定作業

報告様式①

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	木村 昌洋	内線	0575-33-4011(内線 324)
支援学校名	関市立上之保小学校	Tel.	0575-47-2019
担当教員名	家田 富美子 先生		
対象学年	5年生 15人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】 関市役所 関市上之保事務所	
5		【連携内容】	
6	6/4 上之保小学校 家田先生と初回うちあわせ	当日のスケジュール 児童の準備物 会場準備	
7			
8			
9			
10	9/28 最終打ち合わせ、砂防副読本 提供 9/30 雨天延期 10/7 雨天延期 10/13 総合学習 実施		
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	木村 昌洋	内 線	3 2 4
支援校名	関市立上之保小学校	担当教員名	家田 富美子 先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

10月13日(火) 10:35~12:00 総合学習
 学習場所:上之保小学校、神戸谷砂防えん堤
 テーマ「自然災害と砂防について学ぼう」

- ①スライドを用い、教室にて授業
- ②神戸谷えん堤見学

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 下見を行い、階段に手すりを設置する等、安全に見学できるよう配慮した。
- ・ 土砂災害の実録映像、CG 動画、アニメをスライドに盛り込み、児童が興味を示すよう心掛けた。
- ・ 普段立ち入ることがない水叩き部に降りてもらい、えん堤の大きさ、頑丈さを実感してもらった。

【子供達の反応】

- ・ 事前に配布した砂防副読本で予習しており、こちらが用意していた質問に答えられて驚いた。
- ・ 地すべりの実録映像では声をだしておどろくなどしており、土砂災害の恐ろしさが伝わった。
- ・ 見学したえん堤は学校から歩いて数分のところにあるが、全く知られておらず、その存在に驚いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 現場見学によって砂防ダムの実際の様子が実感された。安全に見学できるように手すり、階段など準備をしていただき、ありがたかった。
- ・ 現場にパネルがあることで、より詳しく理解することができたと思う。

【今後の課題・課題への提案】

実験など児童に作業してもらい学習ができれば、より児童に興味を持ってもらえると思う。砂防えん堤の効果がわかる実験を今後行ってみたい。

【担当者として得たもの】

プレゼンには見た目にインパクトのある動画が非常に有用であると感じた。内容をわかりやすく伝えるために効果的なスライド作りを心掛けたい。



教室で土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について学びました。



砂防えん堤 現場見学



えん堤に触ってみました。

報告様式①

土木事務所名 (郡上 土木事務所)

土木事務所担当者名	長尾 篤	内線	342
支援学校名	郡上市立明宝小学校	Tel.	0575-87-2132
担当教員名	山下先生		
対象学年	4年生 15名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7			
8			
9	8/20(木) 明宝小学校と打合せ(小学校にて)		
10	9/24(木) 総合学習 (1日目) 砂防えん堤の役割、魚道の役割について(教室にて) 上坂本砂防えん堤魚道見学		
11			
12	11/17(火)総合学習 (2日目) 児童による発表会(寸劇) 水質浄化実験		
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	長尾 篤	内 線	3 4 2
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	山下先生	対象学年	4 年 生

【事例概要】

9月24日(木)

8:30~9:30 (教室) 明宝小学校

『土石流と砂防えん堤の役割、魚道について』説明

9:50~11:20(現地調査) 吉田川(上坂本魚道)

魚道内の観察、水質調査、水生昆虫調査

11月17日(火)

9:45~10:20(体育館)児童による発表会

10:45~11:30(教室)水質浄化実験等

【工夫した点、苦労した点】

- ・落差のある砂防ダムや魚道において児童が怪我をしないように安全面に特に気を配りました(トラロープ トラ柵設置)
- ・教室ではパワーポイントによる説明や、水質浄化実験等分かりやすい内容で実施しました。

【子供達の反応】

『今年は児童から総合学習の内容(吉田川の魚道について)寸劇による発表会を見せていただくことができました。』

- ・実際に魚道観察や水質調査を行って面白かった
- ・魚道や砂防について良く理解することができた
- ・吉田川の水が下流の水に比べてきれいなことが分かった

【学校関係者からの意見】

- ・魚道・砂防えん堤を間近で見学することができ子供達も貴重な体験学習ができた。
- ・野外学習を中心に今後も引き続き行ってほしい。
- ・教室で行う内容等を一部改善したい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・事務所職員数だけでは特に安全管理が難しい点。よって外部委託する必要がある点。
- ・今後教室で行う内容を縮小し、野外活動をメインにしていきたい。

【担当者として得たもの】

- ・児童に説明をすることで、分かりやすい説明を考える良い経験となりました。
- ・今年は児童から『吉田川の魚道』について寸劇を見せてもらい非常に感動しました。ありがとうございました。



《魚道内の観察》水中メガネで魚を観察。



《河川観察》石裏の水生昆虫を採取。



《教室》魚道と砂防について説明。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	長尾 篤	内 線	3 4 2
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	山下先生	対象学年	4 年生

【新聞記事等】

200 2009年10月2日(金) 金曜日

郡上市明宝小 児童が砂防えん堤見学



箱型水中メガネで魚道の中を観察する児童ら—郡上市明宝奥住、上坂本砂防えん堤魚道

魚道の役割学ぶ

箱型メガネで水中観察

郡上市明宝の明宝小学校の4年生15人が、明宝奥住の吉田川にある上坂本砂防えん堤で魚道観察を行い、地域の魚道への理解を深めた。

(森嶋哲也)

同えん堤に設けられた魚道は、高さ11メートルのえん堤を移動する魚のために造られた長さ120メートルの2重らせん構造。毎年、同小学校の4年生が総合学習の授業で観察している。

児童は3班に分かれて、箱型水中メガネを使った魚道観察、水生昆虫の調査、水質調査を交代で行った。

児童がペットボトルの役割や魚道の仕組みで手作りし、事前に設けがよく分かった。「水置しておいた仕掛けに生物が観察できてよはカシカなどがかかった」など感想を語り、大喜び。「えん堤 語っていた」。

平成21年10月2日(金) 岐阜新聞 中濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	遠藤 浩	内線	325
支援学校名	七宗町立神淵小学校	Tel.	0574-46-1210
担当教員名	渡辺先生		
対象学年	4年生 21名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】	
5			
6	<p>6月9日(火) 神淵小学校で支援内容について打合せ</p> <p>6月24日(水) 総合学習 13:50~15:10 学習場所:神淵小学校 ①パックテストによる水質検査 ②川の水生生物の種類と水のきれいさについて ③急な増水など川の危険性について</p> <p>6月26日(金) 総合学習 13:50~15:00 学習場所:神淵川 ①カワゲラウオッチング</p>	【連携内容】	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	遠藤 浩	内 線	3 2 5
支援校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	渡辺先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

6月24日(水) 13:50~15:10

学習場所: 神淵小学校 理科室

- ①パケットによる水質検査
- ②川の水生生物の種類と水のきれいさについて
- ③急な増水など川の危険性について

6月26日(金) 13:50~15:00

学習場所: 神淵川

- ①カワゲラウオッチング

【工夫した点、苦労した点】

- ・当日の天候不良のため、カワゲラウオッチングとパケットの日程を入れ替えた。
- ・川の深みや流れの急なところに児童が行かないよう事前にポールで調査範囲を明示した。
- ・川へ安全に下りることができるよう階段を設けた。

【子供達の反応】

- ・パケットでは、1滴のコーヒーで水が汚れることを知り驚いていた。
- ・カワゲラウオッチングでは、最初なかなか水生生物を捕れなかった子もすぐに捕まえられるようになり、みな夢中になって数多くの水生生物を捕獲していた。

【学校関係者からの意見】

- ・身近な飲み物を使用しての実験やカワゲラウオッチングは、とてもいい体験となり、川的环境についても考えることができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・パケット(COD)をコーヒーやお茶を希釈して行う際に原液の濃度が分かる換算表を用意したが、もう少しわかりやすくする工夫が必要であると感じた。

【担当者として得たもの】

- ・総合学習を通じて、子供たちが川の水がきれいであることの大切さを学ぶのを目の当たりにし、このような学習の意義を実感した。



パケットの様子



カワゲラウオッチングの様子



捕獲した水生生物を確認する様子

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	遠藤 浩	内 線	3 2 5
支援校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	渡辺先生	対象学年	4 年生

【新聞記事等】

川の水質検査を体験
七宗の神淵小で環境学習

七宗町の神淵小学校 簡易水質検査を体験。
二十四日、川をテーマにした環境学習が、四年生児童二十一人を対象に開かれた。県可茂土木事務所が、児童に環境への意識を高めてもらうべく、総合学習を支援。同事務所と役場の職員三人が講師を務めた。児童らは、事前に採取された神淵川の水と、お茶やコーヒールを少量混ぜた水を使い、



わずかな混入物でも川が汚染されることを学んだ。二十六日は、近くの神淵川でカワゲラなどの水生生物の生態

状況を調べ、水がきれいかどうか確かめる。
(井上昇治)

水質検査を体験する児童ら—七宗町神淵で

平成21年6月26日(金) 中日新聞 中濃版

◇水生生物調査 七宗町の神淵小学校の4年生21人が、近くの神淵川で水生生物を調べた。写真。川の中の生きものを



指標に、川が汚れているかどうかを調べる活動。県可茂土木事務所が協力した。川に入った児童らは、きれいな川にすむサワガニ、ヘビトンボを見つけたほか、やや汚れた川に生息するヒラタドロムシ、カワニナも確認。「神淵川をきれいにしたい」と話していた。

平成21年7月7日(火) 中日新聞 中濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	遠藤 浩	内線	325
支援学校名	可児市立南帷子小学校	Tel.	0574-65-4181
担当教員名	武藤先生		
対象学年	3年生 73名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】 多治見市土岐川観察館	
5			
6		【連携内容】 水生生物調査の指導、 解説	
7	6月30日(火) 土岐川観察館と支援内容について打合せ		
7	7月10日(金) 可児川で水生生物調査		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	遠藤 浩	内 線	3 2 5
支援校名	可児市立南帷子小学校	担当教員名	武藤先生	対象学年	3 年生

【事例概要】

7月10日(金) 10:00~12:10

学習場所: 可児川 ふるさと川公園

①水生生物の調査

学習場所: 可児市総合会館

②可児川に棲む生物について

③可児川の河川改修について

【工夫した点、苦労した点】

- ・子供の数が多いため、監視する職員を多めに配置して対応した。
- ・小雨模様の天候となったため、子供達の体調に気を配った。

【子供達の反応】

- ・子供達は夢中になって水生生物を捕まえていた。
- ・川にたくさんの生物がいることを知り、驚いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・子供達が安全に調査できるようなサポート体制を取っていただき感謝している。
- ・学校近くの身近な場所に、このような調査活動ができるとうい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・子供から捕まえた生物の名前を聞かれたときに、すべて答えられるようにすることが個人的な課題である。

【担当者として得たもの】

- ・土岐川観察館の方の子供達に対する説明は、非常に勉強になった。



水生生物の調査について説明



水生生物の調査



可児川の河川改修について説明

報告様式①

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	立沢 友宏	内線	324
支援学校名	可児市立広見小学校	Tel.	0574-65-4181
担当教員名	堀部先生、瀬瀬先生、高木先生、森先生		
対象学年	5年生 151名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
21/4			【機関・団体名】
5			【連携内容】
6			
7			
8			
9			
10	10月5日(月) 可児市役所で支援内容について打合せ		
11	10月23日(金) 学習場所:可児川ふるさと川公園 テーマ:流れる水のはたらき		
12	① 川のお話を聞こう ② 可児川の様子を観察 ③ 頭首工の様子を観察		
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 4
支援校名	可児市立広見小学校	担当教員名	堀部先生	対象学年	5 年生
<p>【事例概要】 10月23日(金) 9:30~11:00 学習場所: 可児川 ふるさと川公園 テーマ「流れる水のはたらき」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 川のお話を聞こう ② 可児川の様子を観察 ③ 頭首工の様子を観察 <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の数が多いため、2つのグループに分けて対応した。 <p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段何気なく見ていた身近な川にも、災害を防ぐための護岸工事が行われていることがわかった。 ・ 川を見学しながらいろいろな質問をし、授業では分からなかったことが解決した。 <p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業では、川に関する写真等で調べ学習を行ってきたが、自分たちの身近にある川を実際に見学しながら、「川」の様々なはたらきについて学習することができ、とてもわかりやすかった。ぜひ、来年度もこのような機会があるとありがたい。 <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験等を行い、災害を防ぐための護岸工事の必要性を説明すると、より一層理解してもらえらると思う。 <p>【担当者として得たもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民に対しても今回と同様にわかりやすい言葉で丁寧に説明することの必要性を感じた。 			 		

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 4
支援校名	可児市立広見小学校	担当教員名	堀部先生	対象学年	5 年生

【新聞記事等】

平成21年10月29日(木) 建通新聞

岐阜県可茂土木事務所は23日、可児市の広見小学校の5年生児童を対象に「流れる水のはたらき」

川の総合学習開催

可茂土木と可児市
広見小5年生対象に



と題した川の総合学習を、同事務所が管内小中学校可児川ふるさと川公園で、校の総合的な学習時間の開いた写真。

今回は可児市と共催。当日は5年生151人が2班に分かれて可児川を観察。可茂土木の職員が、洪水時に川が壊れないための工夫や、川が曲がっているところでの外側と内側の流れの速さの違いなどを説明した。

※この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。

広見小学校からの感想文

可茂土木事務所河川防砂課

川の先生へ

ありがとうございました



広見小学校 5年生より

報告様式①

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	立沢 友宏	内線	324
支援学校名	白川町立白川小学校	Tel.	0574-72-1024
担当教員名	5年 古川宇紀子 先生、6年 田口哲生 先生		
対象学年	5年生 15人、6年生 19人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6	6月12日(金)白川小学校にて学習内容の打合せ		
7	6月29日(月) 10:40~12:20 学習場所:白川小学校 テーマ「砂防って何？」		
8	① 土砂災害について		
	② 土砂災害から身を守るために		
	③ 土砂災害を防ぐには		
9	④ 工事現場の見学		
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 4
支援校名	白川町立白川小学校	担当教員名	古川・田口 先生	対象学年	5・6年生

【概要】

6月29日(月) 10:20~12:20

学習場所:白川小学校

テーマ「砂防って何？」

- ①土砂災害について
- ②土砂災害から身を守るために
- ③土砂災害を防ぐには
- ④工事現場の見学

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 校舎の裏の工事現場において、安全対策に注意を払った。

【子供達の反応】

- ・ がけ崩れ、土石流の映像は迫力があり、興味を持って見入っていた。
- ・ 工事現場は、仮設防護柵等で仕切られており施工中の状況が見えない状態であるため、現場内に入ることが出来たことがうれしそうだった。また、施工業者による工事の進め方の説明も興味を持って聞いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 現地見学をする前に、パワーポイントによる砂防や土砂災害について具体的に説明されたことや、白川町の実態についても知ることができ子供の興味を喚起することができた。現地においても安全配慮が十分にされ、子供の活発な質問にも分かり易く正確に対応されて充実した見学となった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 小学校側の求める学習内容とのマッチングを図るため、打ち合わせ回数を増やすなどする必要である。

【担当者として得たもの】

- ・ 砂防についての知識が少なく、また、工事現場を間近で見る機会もないことから、興味深く見て・聞いてもらえたことから、砂防のPRの必要性を感じた。
- ・ 校舎の裏で事業を実施しているにもかかわらず、児童に対しての情報提供を実施していなかったが、わかりやすい工事標識の設置等を検討したい。



小学校での説明の様子



工事現場での見学の様子



工事現場での説明の様子

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 4
支援校名	白川町立白川小学校	担当教員名	田口・古川先生	対象学年	5・6年生

【新聞記事等】



平成21年7月1日(水) 中日新聞 中濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	武藤良幸、古澤隆弘	内線	320
支援学校名	瑞浪市立土岐小学校	Tel.	0572-68-4185
担当教員名	林 先生		
対象学年	5年生 100名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6	6月2日 ガサガサ探険隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
	6月8日花の苗植(土岐川)	退職公務員連盟 (瑞浪支部土岐分会)	
7		桔梗幼稚園	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1	12月16日花の苗植(土岐川)	退職公務員連盟 (瑞浪支部土岐分会)	
		桔梗幼稚園	
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、古澤隆弘	内 線	320
支援校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	林 先生	対象学年	5年生

【事例概要】

土岐川 水辺の楽校

場所：瑞浪市土岐町

6月2日(木) 10:00~11:00

テーマ「ガサガサ探検」

①魚類調査の方法、護岸の必要性等について生徒たちに説明した。

②ガサガサ探検

調査箇所を3箇所に分け、交代制でガサガサ探検を行った。

6月8日(月) 9:30~10:30

テーマ「花の苗植」

①「水辺の楽校」整備について、その目的と概要を生徒たちに説明した。

②花の苗植

12月16日(水) 9:30~10:30

テーマ「花の苗植」

①花の苗植

【工夫した点、苦労した点】

・川の流れが速い箇所があり、生徒たちの安全に気を配った。

【子供達の反応】

・流れの速さに構わず、元気に魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

・子供たちが河川環境と護岸について学ぶ良い機会になった。

・多くの方にサポートしていただきながら調査できたので安全に観察ができた。

【今後の課題・課題への提案】

・水辺の楽校の概要や、講評、護岸の説明などは屋外で行われるため、天候に左右されやすい。

・雨天や風の強いときへの対応を準備しておくこと、聞き取りやすく伝える方法など検討の余地があると思った。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探検】

水辺の楽校で整備した落差工や魚道の付近のガサガサ探検を行いました。



【水辺の楽校 花の苗植】

水辺の楽校を活用する親水イベントとして、小学生と幼稚園児と一緒に苗を植えました。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、古澤隆弘	内 線	320
支援校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	林 先生	対象学年	5年生

【新聞記事等】

新聞記事

岐阜新聞 平成 21 年 6 月 9 日(火)

朝刊

土 岐 川 瑞浪市 土岐町 地内



仲良く花の苗を植える土岐小5年生と桔梗幼児園児
|| 瑞浪市土岐町

「水辺の楽校」花で飾ろう

土岐小児童と桔梗幼児園児
サルビアなど植栽

瑞浪市

瑞浪市土岐町の土岐小学校5年生と隣接する桔梗幼児園の園児らが8日、同園前の土岐川河川敷の一角に整備された「なかよしひろば」にサルビアなどの花の苗を植えた。(平田成範)

同ひろばは、環境学習の場として、土岐川沿い約1キロにわたって県多治見土木事務所が、校児童や園児らが花の整備し、退職公務員瑞浪支部土岐分会の会員らが清掃活動を通じてきた「水辺の楽校」の一角で、約45平方メートルの花壇。3年前から、同後、児童と園児が花壇の周りに交互に並び、手で土をかけるからサルビア、ペゴニア、マリーゴールドの花苗計約150人。同会員が288本を植えた。

平成21年6月9日(火) 岐阜新聞 東濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	三輪寛幸、小川紀代	内線	320
支援学校名	瑞浪市立釜戸小学校	Tel.	0572-63-2004
担当教員名	加藤 先生		
対象学年	3年生 25名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6	6月 16日 ガサガサ探険隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所属	河川砂防課 河川砂防担当	氏名	三輪寛幸、小川紀代	内線	320
支援校名	瑞浪市立釜戸小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年	3年生

【事例概要】

6月16日(火) 10:00~12:00

土岐川ガサガサ探険隊

場所：瑞浪市釜戸町

テーマ「水生生物の観察」

- ①ガサガサ探険
- ②水質調査・生物の確認
- ③川の施設について

【工夫した点、苦労した点】

川の中を移動する生徒たちが怪我をすることのないように注意を払った。

【子供達の反応】

生徒は魚が生息していそうな場所を探して、見つかる度に喜んでいました。水質の検査の時は興味深そうでした。

【学校関係者からの意見】

子供たちに河川環境について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

生徒への説明にあたっては、専門用語を分かりやすいように説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】

子どもたちの野外活動及び生物への好奇心の強さを改めて感じた。



【ガサガサ探険】

土岐川に入り生物を探しました。



【水質調査・生物の確認】



【川や砂防の施設について】

河川に施設が必要な理由や、川遊びをするときの注意点などを話しました。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	古澤隆弘、三輪寛幸、小川紀代	内線	320
支援学校名	多治見市立精華小学校	Tel.	0572-22-3275
担当教員名	平野 先生		
対象学年	5年生 173名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7	6月 19日 ガサガサ探険隊(大原川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	古澤隆弘、三輪寛幸、 小川紀代	内 線	320
支援校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	平野先生	対象学年	5年生

【事例概要】

6月19日(金) 9:30~12:00

大原川ガサガサ探険隊

場所：多治見市宝町

テーマ「水生生物の観察」

- ①川の話进行こう
- ②ガサガサ探険
- ③河川砂防施設の必要性等

【工夫した点、苦労した点】

生徒たちが飽きないように分かりやすく説明するのが難しかった。

【子供達の反応】

生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。
魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

子供たちに河川環境と河川及び砂防施設について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

173名と人数が多かったため、事前の説明、ガサガサ探険、講評などの時間配分を管理することが大変だった。

生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】

自然環境の学習は何よりもまず現場に入って観察することが第一だと思った。

また、生徒の注意を集めて分かりやすく楽しく説明する方法を考えるべきだと思った。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探険の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探険】



【河川砂防施設の必要性等】

護岸などの必要性や、川遊びの注意点について説明しました。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	古澤隆弘、三輪寛幸、小川紀代	内線	320
支援学校名	南山大学付属小学校	Tel.	052-836-2900
担当教員名	幸先生		
対象学年	3年生 92名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7	6月26日 ガサガサ探険隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	古澤隆弘、三輪寛幸、 小川紀代	内 線	320
支援校名	南山大学付属小学校	担当教員名	幸 先生	対象学年	3年生

【事例概要】

6月26日(金) 13:30~15:30

土岐川ガサガサ探険隊

場所：多治見市町

テーマ「水生生物の観察」

- ①川の話进行こう
- ②ガサガサ探険
- ③石遊び
- ④記念写真

【工夫した点、苦勞した点】

生徒たちが飽きないように分かりやすく説明するのが難しかった。

水の中へ入るだけではなく、石遊び等も行った。

【子供達の反応】

大変暑い日であったが、生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。

魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

子供たちに河川環境と護岸について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】

自然環境の学習は何よりもまず現場に入って観察することが第一だと思った。

最後に、小学校側より要望があり、各クラス毎に記念写真を撮り、握手を交わし別れを惜しみました。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探険の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探険】



【記念写真】

小学校側より要望があり、クラス毎に記念写真を撮り、握手を交わし、お別れをしました。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	古澤隆弘、小川紀代、三輪寛幸	内線	320
支援学校名	多治見市立共栄小学校	Tel.	0572-22-0833
担当教員名	野中 先生		
対象学年	4年生 81名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7	7月 1日 ガサガサ探険隊(高田川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	古澤隆弘、小川紀代、三輪寛幸	内 線	320
支援校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	野中先生	対象学年	4年生

【事例概要】

7月 1日(火) 10:40～11:30

大原川ガサガサ探険隊

場所：多治見市虎溪山町
 テーマ「水生生物の観察」

- ①川の話进行こう
- ②ガサガサ探険

【工夫した点、苦勞した点】

生徒たちが飽きないように分かりやすく説明するのが難しかった。

【子供達の反応】

生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

子供たちに河川環境について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

事前の説明、ガサガサ探険、講評などの時間配分を管理する。
 生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】

自然環境の学習は何よりもまず現場に入って観察することが第一だと思った。
 また、生徒の注意を集めて分かりやすく楽しく説明する方法を考えるべきだと思った。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探険の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探険】



【講評】

捕獲した魚を観察し、魚の名前や生態について講評しました。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	武藤良幸、古澤隆弘	内線	320
支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	Tel.	0572-68-4535
担当教員名	只腰 先生		
対象学年	5年生 140名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7	7月3日ガサガサ探険隊(万尺川) 7月9日ガサガサ探険隊(万尺川)	多治見市土岐川観察館 多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、古澤隆弘	内 線	320
支援校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	只腰 先生	対象学年	5年生

【事例概要】

土岐川 水辺の楽校

場所：瑞浪市北小田町

7月3日（金） 10:00～12:00

テーマ「ガサガサ探検」

①魚類調査の方法、万尺川の河川砂防施設の必要性等について生徒たちに説明した。

②ガサガサ探検

調査箇所を2日に分け、ガサガサ探検を行った。

③水質調査・生物の確認

7月9日（木） 10:00～12:00

テーマ「ガサガサ探検」

①魚類調査の方法、万尺川の河川砂防施設の必要性等について生徒たちに説明した。

②ガサガサ探検

調査箇所を2日に分け、ガサガサ探検を行った。

③水質調査・生物の確認

【工夫した点、苦労した点】

・川の流が速い箇所があり、生徒たちの安全に気を配った。

・写真パネルを多く使い、出来る限りイメージを伝えやすくした。

【子供達の反応】

・流れの速さに構わず、元気に魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

・子供たちが河川環境と護岸や土砂災害について学ぶ良い機会になった。

・多くの方にサポートしていただきながら調査できたので安全に観察ができた。

【今後の課題・課題への提案】

・講評、護岸の説明などは屋外で行われるため、天候に左右されやすい。

・雨天や風の強いときへの対応を準備しておくこと、聞き取りやすく伝える方法など検討の余地があると思った。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探検】

落差工や魚道の付近のガサガサ探検を行いました。



【万尺川の河川砂防施設の必要性等について】

万尺川に施設が必要な理由と、川遊びの注意点について話しました。

報告様式①

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	古澤隆弘、三輪寛幸	内線	320
支援学校名	多治見市立根本小学校	Tel.	0572-20-0122
担当教員名	浅野 先生		
対象学年	4年生 126名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	10月15日ガサガサ探険隊(大原川)	多治見市土岐川観察館	
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	古澤隆弘、三輪寛幸	内 線	320
支援校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	浅野 先生	対象学年	4年生

【事例概要】

大原川ガサガサ探険隊

場所：多治見市根本町

10月15日（木） 13:00～16:00

テーマ「ガサガサ探険」

①魚類調査の方法、河川砂防施設の必要性等について生徒たちに説明した。

②ガサガサ探険

調査箇所を2箇所に分け、ガサガサ探険を行った。

③水質調査・生物の確認

【工夫した点、苦労した点】

- ・子供たちが元気であったため、監視等に気を配った。
- ・写真パネルを多く使い、出来る限りイメージを伝えやすくした。

【子供達の反応】

- ・子供たちは元気に楽しみながら、魚を捕まえていた。

魚の種類や生態についても興味・関心が非常に高く、様々な質問が多く出ました。

【学校関係者からの意見】

- ・子供たちは、河川環境等について学ぶ良い機会になった。
- ・多くの方にサポートしていただきながら調査できたので安全に観察ができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・子供たちの目線からの意見を聞くことによって、河川の成り立ちや施設について日頃気を配らないようなことに気づかされた。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探険の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探険】

落差工の上下流2箇所にわかれてガサガサ探険を行いました。



【水質調査・生物の確認について】

水質調査やPH等の調査をしました。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 5
支援校名	中津川市立付知南小学校	担当教員名	赤塚先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

1. カワゲラウオッチング (水生生物調査)

[6月17日 付知川]

天候、流速、水温等を測定

指標生物の捕獲

指標生物の分類

各グループの代表者による発表

【工夫した点、苦労した点】

- ・カワゲラに関する知識があまりなく、児童の質問に十分答えられなかった。

【子供達の反応】

- ・普段、川で遊ぶことが少ないためか、喜んで作業していた。
- ・指標生物とは関係ない魚にも興味をしめしていた。

【学校関係者からの意見】

- ・付知川に入ることはあるのですが、川の生き物を観察することは少ないため、みな興味を持って川に入っていたように思います。そして、楽しく有意義な時間を過ごせました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・調査に必要な道具の購入
- ・指標生物の知識が必要
(カワゲラ博士養成講座の受講が必要)

【担当者として得たもの】

- ・指標生物の知識がなく、分類時に困ったため、今後経験を積み勉強していきたいと感じた。



所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 5
支援校名	中津川市立付知南小学校	担当教員名	赤塚先生	対象学年	4 年生

【新聞記事等】



平成21年6月19日(金) 岐阜新聞 東濃版
 ※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	岡村 忠一	内線	345
支援学校名	恵那市立岩邑小学校	Tel.	0573-43-2515
担当教員名	平林 先生 西尾 先生		
対象学年	4年生 60名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 5	岩村ダム見学の依頼を受ける。	【機関・団体名】 恵那市 (富田浄水場、岩村浄化センター) 【連携内容】 岩村ダム→富田浄水場 →岩村浄化センターを見学し水利用の一環を学ぶ。	
5	実施日時・場所・日程等打ち合わせを行なう。		
5	5月19日(火)岩村ダム見学会 (ダムの役割の説明、施設内の案内)		
6	6月25日(木)岩村川にて水生生物調査を実施。 (カワゲラウオッチング)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 5
支援校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	平林先生	対象学年	4 年生
<p>【事例概要】</p> <p>1. 岩村ダム見学会〔5月19日岩村ダム〕 土木事務所職員の案内によりダム内の施設（操作室、ダム堤体内）を見学し、ダムの機能仕組みについて4年生児童が学習した。</p> <p>2. カワゲラウオッチング（水生生物調査） 〔6月25日岩村川〕</p> <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査廊内での見学時、水生生物調査時の児童の安全管理 ・カワゲラに関する知識があまりなく、児童の質問に十分答えられなかった。 <p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの監査廊にも入ってもらい、子供たちは、元気よく発言し、ダム見学を楽しんでいました。 ・水生生物調査では、川にたくさんの生き物がいることを知り、河川に対して親しみを持ったようである。 <p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の学習をきっかけとして、岩村ダムに対する理解も深まると共に、岩村川の環境にも興味を持ち、環境を守ろうとする意識が育ってくれたと思う。 <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に分かり易く説明できるように、河川・環境等の知識を増やしていく。 <p>【担当者として得たもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒と共に行動することにより「川の魅力」を再認識できた。 			 <p>1. 岩村ダム見学会（事務室にて）</p>  <p>2. カワゲラウオッチング（水生生物調査） 岩村川</p>  <p>3. カワゲラウオッチング（水生生物調査） 岩村川</p>		

報告様式①

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	櫻井 優一	内線	345
支援学校名	恵那市立中野方小学校	Tel.	0573-23-2004
担当教員名	平井 友昭先生		
対象学年	4年生13名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】 恵那市	
5	6.3 恵那市企画部を通じて土木事務所に依頼。	【連携内容】	
6	6.30 中野方ダムにて実施。		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム管理事務所にて、ダムの役割の説明。 ・ 施設内の案内(取水塔、ポンプ室、提体内監査廊) 		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	櫻井 優一	内 線	3 4 5
支援校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	平井先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

多目的ダムとして建設された「中野方ダム」にて役割についての考察、施設見学を含めた総合学習。

【工夫した点、苦労した点】

ダムの規模・効果を子供達の身近なものに置き換えて説明した。

【子供達の反応】

ダムがあることは知っていてもその仕組みを知ることにはあまりなく興味を示していた。また、普段は入れない堤体内の見学も楽しんでた。

【学校関係者からの意見】

次年度以降の継続要望。

【今後の課題・課題への提案】

特になし

【担当者として得たもの】

技術的なことを小学生の立場になって説明するスキル。



管理棟での説明



操作室見学



堤体見学

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 5
支援校名	恵那市立山岡小学校	担当教員名	保母先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

1. カワゲラウオッチング (水生生物調査)
 [9月8日 小里川]
 天候、流速、水温等を測定
 指標生物の捕獲
 指標生物の分類
 各グループの代表者による調査票の整理。
 簡易水質検査 (全員)

【工夫した点、苦労した点】

- ・カワゲラに関する知識があまりなく、児童の質問に十分答えられなかった。

【子供達の反応】

- ・普段、川で遊ぶことが少ないためか、喜んで作業していた。
- ・指標生物とは関係ない魚にも興味をしめしていた。

【学校関係者からの意見】

- ・小里川に入ることはあるのですが、川の生き物を観察することは少ないため、みな興味を持って川に入っていたように思います。そして、楽しく有意義な時間を過ごせました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・調査に必要な道具の購入
- ・指標生物の知識が必要
 (カワゲラ博士養成講座の受講が必要)

【担当者として得たもの】

- ・指標生物の知識がなく、分類時に困ったため、今後経験を積み勉強していきたいと感じた。



報告様式①

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	清水 壘	内線	347
支援学校名	中津川市立川上小学校	Tel.	
担当教員名	中井 先生		
対象学年	3～4年生 15名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4	<ul style="list-style-type: none"> ・4/21 日、恵那市、中津川市に総合学習での砂防を希望学校を依頼 ・6/10 日、中津川市川上振興事務所地域福祉課 原企画振興係長から希望校(川上小学校)の連絡あり ・6/19 日 16:00、川上小学校(中井先生)と日時等を打ち合わせる ・7月2日 10:40～12:15 におこなう。 砂防の基礎知識と土石流・急傾斜の模型実験 	【機関・団体名】 ・国土交通省多治見砂防国道事務所中津川出張事務所	
5			
6			
7		【連携内容】 ・土石流模型実験器の貸出	
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	清水 壘	内 線	3 4 7
支援校名	中津川市立川上小学校	担当教員名	中井 先生	対象学年	3、4年生

【事例概要】

- ・日時：7月2日（木）11:40～12:15
- ・場所：中津川市川上 川上小学校
- ・学習内容：
 - 土砂災害と砂防の関わり
 - 恵南豪雨災害のビデオ
 - 土石流模型実験
 - 急傾斜模型実験

【工夫した点、苦労した点】

- ・国交省の土石流模型実験器の他に、急傾斜模型実験器を作成し子供達が目で見て理解できるように工夫した。
- ・パワーポイントでの説明資料では子供でも理解できるように、ひらがなで書いたり、平易な言葉で説明するように工夫した。
- ・急傾斜模型実験器の作成の中で土砂が崩れてくる様子の表現方法に苦労した。

【子供達の反応】

- ・土石流の発生するメカニズムがわかった。
- ・砂防堰堤は1回の土石流だけではなく、その後の土砂も溜めることができることが実験で分かった。

【学校関係者からの意見】

- ・学校の裏を土石流危険渓流が流れているので、今回の学習は身近なテーマだった。学習のなかで土砂災害の恐ろしさや発生した時の対応方法を学ぶことができるともためになった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・理解度を確かめるためにクイズをいれながら、説明を進めていくと子供たちも聞く一方にならずに理解を深めていけると感じた。

【担当者として得たもの】

- ・土砂災害のメカニズムなどをパワーポイントで作成することで自分の頭の中も整理できた。



- ・土砂災害と砂防の関わり（基礎知識の習得）
- ・恵南豪雨災害ビデオ



(土石流模型実験器)
ダムの有無による被害を学ぶ



(急傾斜模型実験器)
がけ崩れの発生状況を学ぶ

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	清水 壘	内 線	3 4 7
支援校名	中津川市立川上小学校	担当教員名	中井 先生	対象学年	3、4年生

【新聞記事等】

ある砂防ダムを詳しく
「でもいざいざ」と話し
ている。

(鈴木啓太)

十四日で、これまでそ
ば打ち体験などをして
いる。(鈴木啓太)

砂防ダムの大切さ
土石流実験で学ぶ
中津川・川上小

恵那土木事務所は二
日、中津川市川上の川
上小学校で砂防体験学
習を開いた。

学校近くを流れる壁
沢川は土石流危険渓流
に指定されており、土
砂災害発生危険性が
高いとして、同校で

開催が決まった。
体験学習には三、四
年生の十四人が参加。
二〇〇九年九月に恵那
市で発生した恵那豪雨
災害の様子をビデオで
見て、豪雨災害被害の
実態を学んだ。

恵那土木事務所員が

土石流実験機に水を流
し、砂防ダムが設置さ
れていない場合、下流
の家屋が土石流で流さ
れる様子を再現した。
小学生は「普段遊んで
いる川で土石流が起き
たら怖い」と話してい
た。(本田英寛)

告知板

◇明智イオンスタ
ブ新役員(任期は今年か
ら1年)

▽会長
三宅明
▽写真
前会長
成瀬郁夫▽第1副会長
小沢建男▽第2副会長
松井興▽幹事 和田光男

平成21年7月3日(金) 中日新聞 東濃版

※この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

溪流模型で砂防ダムの設置効果を確認する
児童ら—中津川市川上、川上小学校



砂防ダムの役割学ぶ
川上小 土石流の怖さ実感 中津川市

中津川市川上(かわるが、一方で同川は土
うまの川上小学校で
2日、砂防教室が開か
れ、児童が土石流の恐
ろしさや砂防事業につ
いて学んだ。

同校裏には壁沢川が
流れ、「水辺の楽校プ
ロジェクト」に登録さ
れ、身近な自然との触
れ合いの場になってい
る。

教室はこうした郷土
の様子を知ろうと開か
れ、3、4年生合わ
せて14人が恵那土木
事務所職員による特別
授業に臨んだ。初め
に東濃地方で実際に起
きた豪雨災害の記録ビ
デオが放映され、この
後、2基の溪流模型に
水を流し、砂防ダムが
ある場合とない場合
で、土砂の流れがどの
ように違うかを間近に
見た。

児童らは土石流を食
い止めるダムの効果を
確認。職員から感想を
聞かれ、「様子がよく
分かり、勉強になった
と答えていた。

(森川洋)

平成21年7月3日(金) 岐阜新聞 東濃版

※この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式①

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	322
支援学校名	下呂市立小坂中学校	Tel.	0576-62-2067
担当教員名	熊崎 公司 先生		
対象学年	1年生 30名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】	
5	◆ 5月21日(木) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土	・ 飛騨振興事務所	
6		環境担当	
7	◆ 6月3日(木) 「大洞・小坂・飛騨川 カワゲラウォッチング ・砂防事業説明実施」	・ 下呂市環境課	
8		【連携内容】	
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	宇田 将隆	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立小坂中学校	担当教員名	熊崎先生	対象学年	1 年生

【事例概要】

6月3日 13:00～15:30

「カワゲラウォッチング」
大洞・小坂・飛騨川で実施

◆同日 15:30～15:50

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、3つの川を調査することで、川によって流れの速さが違うことや、川に棲む水生生物の違いなどの特徴の違いを理解できた様子であった。また、日常生活排水等が川を汚す原因になることを理解していた。
- ・ 大雨が降ることにより、身近なところで土石流等が発生することを理解していた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。
- ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

報告様式①

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	322
支援学校名	下呂市立湯屋小学校	Tel.	0576-62-3404
担当教員名	伊藤 弘一 先生		
対象学年	4年生 10名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】	
5	◆ 5月21日(木) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土	・ 飛騨振興事務所	
6		環境担当	
7	◆ 6月9日(火) 「大洞・小坂・飛騨川 カワゲラウォッチング ・砂防事業説明実施」	・ 下呂市環境課	
8		【連携内容】	
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	宇田 将隆	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立湯屋小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

6月9日 8:30~11:30

「カワゲラウォッチング」
大洞・小坂・飛騨川で実施

◆同日 11:30~11:45

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、3つの川を調査することで、川によって流れの速さが違うことや、川に棲む水生生物の違いなどの特徴の違いを理解できた様子であった。
- ・ 砂防についてはパネルによる説明を真剣に聞いてくれた。

【学校関係者からの意見】

- ・ カワゲラウォッチングは、子供達が楽しんで川のことを知ることが出来た。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防の危険箇所を再認識してもらい、一度家族と避難場所等の確認をしてもらえることができた。



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

報告様式①

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	322
支援学校名	下呂市立菅田小学校	Tel.	0576-33-2006
担当教員名	5年 尾方 誠司 先生 ・ 6年 高木 真子 先生		
対象学年	5・6年生 20名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4	<p>◆ 5月21日(木) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。</p> <p>◆ 7月3日(金) 「菅田川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」</p>	<p>【機関・団体名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨振興事務所 環境担当 ・ 下呂市環境課 <p>【連携内容】</p>	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	宇田 将隆	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立菅田小学校	担当教員名	尾方・高木先生	対象学年	5・6年生

【事例概要】

7月3日 10:00～11:00

「カワゲラウォッチング」

菅田川で実施

◆同日 11:30～12:00

「砂防について」

パネルを使い砂防事業について説明

「河川水難事故防止について」

川で遊ぶ際についての注意点について説明

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また菅田川がきれいな川であることを認識できた様子であった。
- ・ 子どもたちは学校の近くに土石流災害の起こる危険な場所があり、一度親と避難場所の確認を話し合いたいと言っていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ カワゲラウォッチングは楽しんで川のことを知ることができよかった。今後も続けて欲しい。
- ・ 砂防について、自分たちの住んでいる地域について子供達を知ることができてよかった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防については危険な箇所を地元の方に知らせる重要性を再認識できた。



「カワゲラウォッチング」

川の中に入って、水生生物を観察しました。



「カワゲラウォッチング」

水生生物を捕獲し、記録しました。



「砂防について」

屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

報告様式①

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	322
支援学校名	下呂市立尾崎小学校	Tel.	0576-55-0010
担当教員名	奥原 美可子 先生		
対象学年	4年生 22名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】	
5	◆ 5月21日(木)	・ 飛騨振興事務所	
6	「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。	環境担当	
7	◆ 7月3日(金)	・ 下呂市環境課	
8		【連携内容】	
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	宇田 将隆	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立尾崎小学校	担当教員名	奥原先生	対象学年	4年生
<p>【事例概要】</p> <p>7月3日 13:00～15:10 「カワゲラウォッチング」 山之口川で実施</p> <p>◆同日 15:10～15:30 「砂防について」 パネルを使い砂防事業について説明 「河川水難事故防止について」 川で遊ぶ際についての注意点について説明</p> <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。 ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。 <p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また山之口川がきれいな川であることを認識できた様子であった。 ・ 土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞きいていた。また、土石流危険渓流等の箇所が、信号機やポストより多いことに驚いていた。 <p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。 ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。 <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。 <p>【担当者として得たもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。 ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。 		 <p>「カワゲラウォッチング」 川の中に入って、水生生物を観察しました。</p>  <p>「カワゲラウォッチング」 水生生物を捕獲し、記録しました。</p>  <p>「砂防について」 屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。</p>			

報告様式①

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	322
支援学校名	下呂市立宮田小学校	Tel.	0576-55-0077
担当教員名	瀬木 先生		
対象学年	4年生 11名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 下呂市萩原振興事務所 (宮田浄水・下水センター)	
5			
6	◆ 6月下旬 実施内容打ち合わせ	【連携内容】 ダム→浄水場→下水センターを見学し「水源地から川へ戻るまで」の水の流れを見学する。	
7	◆ 7月9日(木) 「大ヶ洞ダム見学会実施」		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	宇田 将隆	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立宮田小学校	担当教員名	瀬木先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

「大ヶ洞ダム見学会」

地元の宮田小学校4年生を対象に、大ヶ洞ダムの役割を理解してもらえるように、ダム見学会を開催した。

日時：7月9日 9:50～10:30

場所：大ヶ洞ダム

内容：パネルによるダムの役割

模型を使った実験

管理棟・ダム天端・堤体内探検



「ダムの役割について学ぼう」

パネルを使いダムの役割について説明。たくさんの質問が出てダムに興味を持ってくれました。

【工夫した点、苦労した点】

模型を使いダムのある場合、ない場合を目で見て比較することで、分かりやすくダムの必要性を実感してもらえるようにした。

【子供達の反応】

- ・ 模型を使い、ダムがないと、自分の家などが流されて危険であることを目で確かめて、ダムの重要性を認識できた。また、普段は入ることのない管理棟や堤体内の見学を楽しんでいた。



「ダムの役割について学ぼう」

模型を使いダムの役割を体験し、実感することが出来ました。

【学校関係者からの意見】

児童達が楽しみながら、ダムの役割等を知ることができてよかった。今後も続けて欲しい。

【今後の課題・課題への提案】

子供達が楽しく理解できるように、模型等を工夫することで、より理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

ダムの役割を知ってもらうことで、ダムが自分たちの生活にどのように関わっているかを理解してもらえたと思う。



「ダムを探検しよう」

ダムの天端や堤体内を歩き、ダムの大きさに驚いていた。

報告様式①

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	木村 健吾	内線	382
支援学校名	高山市立清見小学校	Tel.	0577-68-2216
担当教員名	川上先生		
対象学年	4年生 24名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 飛騨振興局環境課 安田氏 高山市役所	
5			
6	◎6月2日 飛騨振興局環境課に実施予定校を確認。支援校の決定の決定。	【連携内容】 調査用の道具は振興局にて準備。水生生物図鑑と自分たちの胴長は土木で準備。	
7	◎7月2日 振興局環境課、清見小学校と、スケジュールの最終確認。	土木事務所側で、カワゲラウォッチングを始める前の数分を使い、河川の話をする。	
8	◎7月6日 高山市清見町 川上川(中之島公園)にて「カワゲラウォッチング」実施。		
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	木村 健吾	内 線	3 8 2
支援校名	高山市立清見小学校	担当教員名	川上先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

テーマ

「川で遊ぶために」、「カワゲラウォッチング」

日時：H21 7月6日(月)AM9:20～11:00

場所：高山市清見町 川上川(中之島公園)

・夏休みを前に、H20 年度神戸の都賀川で起こった水難事故事例を挙げ、川で遊ぶときの注意点を話した。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 説明用のパネルは、枚数を少なくし、大きい写真を使った。話も、なるべく分かりやすい言葉を使い、ゆっくり喋るようにした。
- ・ 飽きさせないよう、皆が手を挙げられるような質問をした。
- ・ 観察には職員・先生がそれぞれの班と一緒に行動し、安全に配慮した。

【子供達の反応】

- ・ 知っている生き物、初めて見る生き物、見つけるたびに皆が呼び合って観察していた。
- ・ 始めはピンセットを使っていた生徒も、手で捕まえて素手で生き物に触ることができて良かったと思う。

【学校関係者からの意見】

最近、社会科の授業で水質についての授業を行ったところで、実際に川の調査ができるので良い勉強になる。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 今回のように「環境」について学ぶ機会があるので、「治水・利水」についても知ってもらい、河川の役割を1つのくくりで学べると良い。

【担当者として得たもの】

自分自身も、この授業の中で初めて知ったこともあり、また小学生達に、より分かりやすく伝えるためにも、もっと色んなことを知らなければならないと思った。



【川で遊ぶときの注意点】

「川遊びは大人と一緒に行きましょう。雨が降り出したら川を離れて避難しようね！」



【カワゲラウォッチング】

「どこにいるかな？」「何がいるかな？」



【調査結果・まとめ】

「見つけた見つけた！色んな生き物がいるよ！」

報告様式①

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	木村 健吾	内線	382
支援学校名	高山市立南小学校	Tel.	0577-32-0013
担当教員名	大谷先生		
対象学年	4年生 24名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4		【機関・団体名】 飛騨振興局環境課 安田氏 高山市役所	
5			
6	◎6月2日 飛騨振興局環境課に実施予定校を確認。支援校の決定。 の決定。	【連携内容】 調査用の道具は振興局 にて準備。水生生物図鑑 と自分たちの胴長は土 木で準備。	
7	◎7月2日 振興局環境課、南小学校と、スケジュールの最終確認。		
8	◎7月14日 高山市岡本町 苔川にて「カワゲラウォッチング」実施。	土木事務所側で、カワゲ ラウォッチング前の数分 を使い、河川の話をする。	
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	木村 健吾	内 線	3 8 2
支援校名	高山市立南小学校	担当教員名	大谷先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

テーマ

「川で遊ぶために」、「カワゲラウォッチング」

日時：H21 7月14日(火)AM9:00～11:00

場所：高山市岡本町 苔川

①H20 年神戸の都賀川の水難事故事例と川で遊ぶときに注意すること

②カワゲラウォッチング

【工夫した点、苦労した点】

- ・生徒数が80人と大人数だったので、監視・調査が大変だった。職員・先生が調査範囲の最上下流でスタンバイし、先へ行こうとする生徒に声をかけ戻らせた。
- ・川の中にゴミがあったため、調査を行いながらゴミを回収した。

【子供達の反応】

- 今回の調査箇所では、トビケラ(幼虫)もたくさん見つかったが、ヒルが非常に多く、またミズカマキリも見つかった。
- ・水質階級としてはⅡ。「水がきれいに見えるけどカワゲラがいなくて残念」「ヒルがこんなにいると思わなかった」「水質階級Ⅰになってほしい」という声があがった。

【学校関係者からの意見】

生徒の感想にもあったが、皆が注意して、より環境の良い川にしていって欲しい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・鉄筋や瓦等、怪我をするようなゴミがいくつかできた。場所によって事前に清掃を行う必要がある。
- ・生物調査と併せて現在の川の環境状態も知ってもらいたい。
- ・雨が多い時期でもあり、延期を繰り返す場合がある。他の指標生物で別の時期に行える？

【担当者として得たもの】

捕まえた生物の種類と数が、他の河川で行った結果と明らかに異なり、水質環境による生息生物の違いを直に知ることができた。環境が良くなるよう手を加えていきたい。



【川で遊ぶときの注意点】

H20年の、神戸 都賀川の水難事故の話と、川で遊ぶときの注意事項を話した。



【カワゲラウォッチング】



【調査結果・まとめ】

水質階級Ⅱに分類される生物の種類が一番多かったが、個体数ではヒルが圧倒的に多く、ほとんどの班が10匹20匹と捕まえた。

報告様式①

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	高島 明	内線	382
支援学校名	白川村立白川中学校	Tel.	05769-6-1360
担当教員名	上野 和重 先生		
対象学年	1～3年生 67名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/4	高山市役所・白川村役場をとおして高山管内の中学校で砂防の総合学習ができないかを検討してもらう。	【機関・団体名】 白川村役場	
5	高山市内は該当無し。 白川中学校で総合学習を行うことが決定。	【連携内容】	
6	平成21年5月27日 白川中学校担当の上野先生と打ち合わせ。	開催中学校の決定 白川村住民への周知	
7	平成21年6月24日 総合学習を行う。		
8			
9			
10			
11			
12			
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高島 明	内 線	382
支援校名	白川村立白川中学校	担当教員名	上野 先生	対象学年	1～3年生

【事例概要】

6月24日(水) 14:30～15:20 総合学習

学習場所:白川中学校ホール

テーマ「土砂災害について知ろう」

- ①土砂災害とは
- ②土砂災害の対策事業
- ③土砂災害に対する心構え

【工夫した点、苦労した点】

各学年ごとにテーマ（1年生：自然環境と文化、2年生：人々の生き方や働く人について、3年生：白川村について）を持っているためそれに合わせた内容とした。

話だけでは伝わりにくいため、映像や砂防堰堤の模型を使用し、目で見せて堰堤の効果を体験させた。模型が小さいためビデオカメラを使いスクリーンに写しみんなに見えるようにした。

白川村にある土砂災害にまつわる伝説(帰雲城)など、地元のネタを話すことにより興味をわかせた。

【子供達の反応】

真面目に聞いていた。

模型での実験では興味を持って参加しており、災害の映像などには驚いていた。

災害に興味を持つことができ、防災意識が高まったようだった。

【学校関係者からの意見】

一般的な話だけでなく白川村という地域に沿った話をしていただいたので生徒も興味を持てたと思います。(校長)

【今後の課題・課題への提案】

大人数だったためパワーポイントの映像や模型が見づかったため、生徒の半分ずつ説明を行うなどの工夫が必要。

【担当者として得たもの】

真剣に説明を聞いていただき今回の説明の趣旨(災害について知っていただき、いざというときどうすれば良いかなど)を理解してくれたので良かった。

子供達に教えるという経験はなかなかできないため良い経験になった。



<説明風景>

パワーポイントを使って説明をしました。



<模型を使って砂防堰堤の効果を体験>

目で見て堰堤の効果を体験していただきました。



<今日の学習をとおしての感想>

質問の時間において、たくさんの感想や意見をいただきました。

報告様式①

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	阿部 晋也	内線	2263
支援学校名	飛騨市立古川西小学校	Tel.	0577-73-2229
担当教員名	田中 先生		
対象学年	4年生 約 40 名 / 5年生 約 50 名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
21/ 4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7	7/3(金) 9:30~11:00 対象:4年生 ■ カワゲラウォッチング		
8	7/14(火) 10:30~11:15 対象:4年生 ■ パックテスト		
9	9/17(木) 9:30~11:00 対象:4年生 ■ ヒメシロチョウ観察会		
10			
11	11/5(木) 13:50~15:20 対象:4年生 □ 砂防堰堤の役割(講義+実験)		
12	11/12(木) 10:30~11:15 対象:5年生 ■ 過去の水害を振り返る(講義)		
22/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	阿部 晋也	内 線	2263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中 先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時：7月3日（金）9:30～11:00

場所：古川西小学校（宮川河川敷）

内容：水質調査（カワゲラウォッチング）

対象の4年生は「水と生活」をテーマに総合学習を実施しており、1学期は「川の水の汚れ」について学習している。本事例では、学校に隣接した宮川において、川の水の汚れ具合を判断しその原因や対策を考えるという流れのうち、汚れの判断指標の一つとしてカワゲラウォッチングを実施したものである。

土木事務所職員は、事前の昆虫見本の作成準備及び、当日の河川内での生物捕獲作業の補助及び安全確保を担当した。

【工夫した点】

- ・分かりやすい下敷型の判別用資料を全員に配布（水の汚れ具合ごとに色分けなど）

【苦勞した点】

- ・判別用資料に記載されていない生物に対する児童の質問対応など（土木事務所職員の知識が不足）

【子供達の反応・実施時の様子・その他課題等】

・水質調査の流れの一つとしてカワゲラウォッチングを位置づけているが、児童らにとっては単純な昆虫採集となってしまった。授業の最後には教諭により水質判別の総括が行われたが、川から上がり昆虫を放流した時点で児童らの興味が薄れてしまっている感は否めない。4～5人のグループで採取を行う際に、知識のある職員が付いて、児童らに水質についての質問投げかけなどを行うことで、何のための昆虫採集かがある程度理解してもらえるのではないかと。

・河川内に入る際、安全確保のためグループごとに職員が付く必要があったが、動員できる職員（10名以上）の確保が困難であった。早めの日程調整及び事務所全体での協力体制が必要不可欠。



・児童に配布した判別要資料(下敷)

確認できた生物によって水の汚れ具合を判断できる



・カワゲラウォッチングの状況

安全確保のため児童数人に対して職員が1人付く



・同定作業の状況

職員は求められた時のみ助言を行う

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	阿部 晋也	内 線	2263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中 先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時：7月14日（火）10:30～11:15

場所：古川西小学校（宮川河川敷）

内容：水質調査（パックテスト）

対象の4年生は「水と生活」をテーマに総合学習を実施しており、1学期は「川の水の汚れ」について学習している。本事例では、学校に隣接した宮川において、川の水の汚れ具合を判断しその原因や対策を考えるという流れのうち、第1回のカワゲラウォッチングに引き続き化学的な判断指標の一つとしてパックテストを実施し、カワゲラウォッチングの結果と合わせて水質を判断しようという取り組みである。

土木事務所職員は、パックテスト資材の提供を含んだ事前準備及び当日の安全確保や試験の補助を行った。

【工夫した点】

- ・測定項目をCOD一つに絞った。
- ・試薬は一人に一つずつ配布し、各自で採水するなど自分で考えて結論を出せるようにした。

【苦勞した点】

- ・採水位置（水たまりなど）によっては極端に異なる結果が出ることもあり、その理由などを理解させることが困難であった。

【子供達の反応・実施時の様子・その他課題等】

- ・一人一つずつ試薬を配布したことにより、興味を持って試験ができたと思われる。しかし、反応時間の正確な測定や標準色シートとの比較判断などには職員が助言を行う必要があり、多くの職員を確保する必要がある。
- ・第1回のカワゲラウォッチングの結果と合わせて水質を判断するものであるが、教諭により事前授業を実施していたため、比較的スムーズに結論を導き出すことができた。また、理解を深めるためには、水質改善のためにできることなど、水質判定後のフォローは必須。（今回は後日教諭により別途授業を実施）

パックテスト®はもっとも簡単な水質分析器です。



- 簡単操作
スポイト式で簡単
 - 小さく軽い
1箱1g前後
 - 結果が早い
ほとんどの測定が5分以内
 - こわれない
ポリエチレン製チューブ
- 測り方はポリチューブ先端のラインを引き抜いて水を吸い込み、指定時間後に吸い込んだ水の実色を標準色と比べ、そこに示された数値が測りたい水質の濃度(mg/L=ppm)になります。61種類ありますので、目的にあわせてご利用ください。



・パックテスト説明書

児童にも簡単に使用できる



・採水時の状況

安全確保のため水際からバケツを投げて河川の流心に近い箇所の水をすくう



・判定時の状況

標準色シートと比較して概算COD値を判別する判断には職員の助言が必要

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	阿部 晋也	内 線	2263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中 先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時：9月17日（木）9:30～11:00

場所：古川西小学校（宮川河川敷）

内容：ヒメシロチョウ観察会

飛騨市古川町下野地区（古川西小学校付近）の宮川堤防には、環境省・岐阜県のレッドデータブックに記載されている「ヒメシロチョウ」が生息している。岐阜県内ではこの地区にしか生息していない希少な蝶であるため、1学期に実施した総合学習「川の水の汚れ」の延長として、その観察会を実施した。

児童と共に宮川堤防を歩き、ヒメシロチョウやその餌となるツルフジバカマを確認し、その保護にはどのようなことができるのか、などについて授業を行った。

土木事務所職員は、現在の環境問題やヒメシロチョウの生態、宮川の環境などについて教室内で授業を行った後、観察会に同行し、生態等に関する解説や安全確保等を行った。

【工夫した点】

・事前授業では、PPTを用いヒメシロチョウや環境問題について解説し、観察のポイントなどを説明

【苦労した点】

- ・ヒメシロチョウやツルフジバカマの判別
- ・生態などについての児童の質問応対（専門家がいなかったため図鑑等により情報収集）

【子供達の反応・実施時の様子・その他課題等】

・他の地区では見られない希少種が学校のすぐ近くで生息していることに感激していた。観察会当日は天気も良く、3～4頭のヒメシロチョウが確認できたが、風が強い日など気象条件によっては全く確認できない日も多いため、確認できなかった場合の対応を検討しておく必要がある。

・生態など児童からの質問が多くあったため、事前の情報収集を十分に行い、また可能であれば専門家を招くなどの対応も検討する必要がある。

ヒメシロチョウ



・ヒメシロチョウ説明パネル

観察会の前にヒメシロチョウとツルフジバカマが認識できるようにしておく



・観察会前の説明状況

PPTを用いてヒメシロチョウの生態や特徴などを説明



・宮川堤防での観察状況

当日は3～4頭を確認

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	阿部 晋也	内 線	2263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中 先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

日時：11月12日（木）10:30～11:15

場所：古川西小学校（教室）

内容：過去の災害を振り返る

古川西小学校5年生では、過去の水害や土砂災害などについて学習しており、専門家である土木事務所から災害の状況を紹介してもらい、という位置付けで今回の総合学習を実施した。今回は過去の大規模な水害のうち、飛騨地区に大きな被害をもたらした、平成11年災（9.15災害）、平成16年災（台風23号）について紹介し、水害を防ぐための取り組みなどについて説明を行った。

【工夫した点】

- ・授業にはPPTを用い、当時の映像などを多用し、感覚的に理解できる内容とした。
- ・興味を持ってもらえるよう、古川西小学校校区内の事例を多く取り上げた。

【苦勞した点】

- ・説明時間が45分と長いため、途中で飽きる児童が見られた。

【子供達の反応・実施時の様子・その他課題等】

・小学校区内の映像や写真などを多用し、また説明の中にクイズ形式を取り入れるなどしたため、それなりに興味を持ってもらえたよう。授業後の感想文では、治水事業の重要性を理解できたという内容が多く見られた。

【学校関係者からの意見】

- ・古川西小学校近くの箇所を中心とした内容で分かりやすい。
- ・実際の現場見学もさせてもらいたい。

岐阜県では昔から大きな水害が発生しています



・説明時 PPT 資料

小学校付近の映像などを多用して説明



・授業状況

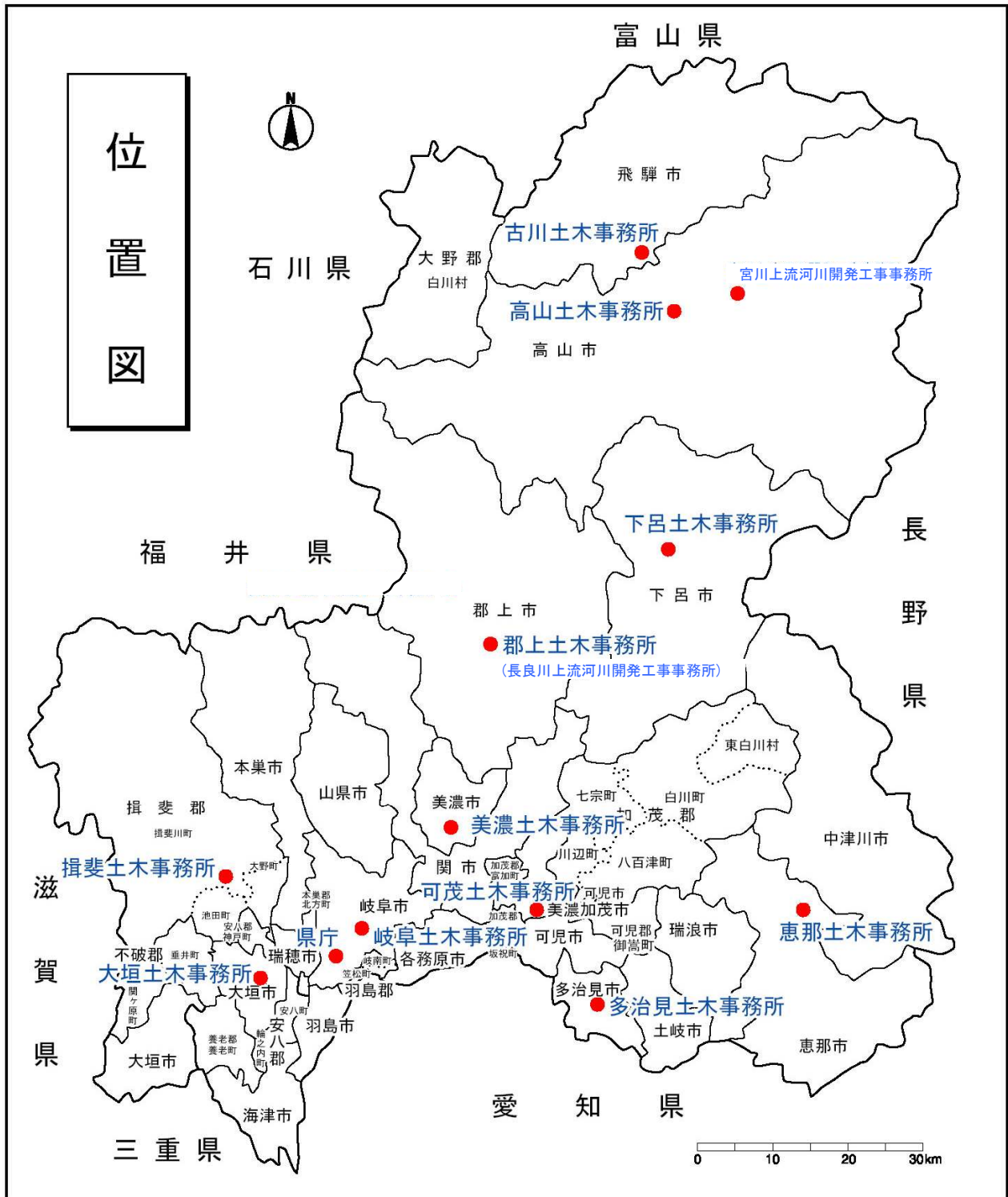


・授業状況

支援窓口一覧表

岐阜県管内図

平成22年3月31日現在



				平成22年3月31日現在
所属	課、担当	TEL	所管市町村名	所在地
		FAX		
県土整備部	河川課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2753		
県土整備部	砂防課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2755		
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-264-1111	岐阜市(北部)、山県市、瑞穂市、本巣市、北方町	〒500-8708 岐阜市司町1 岐阜総合庁舎内
	河川砂防課 河川第二担当		岐阜市(南部)、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町	
	河川砂防課 砂防担当	058-264-8087	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、 岐南町、笠松町、北方町	
大垣土木事務所	河川砂防課 河川担当	0584-73-1111	大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内 町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0584-82-4960		
揖斐土木事務所	河川砂防課	0585-23-1111	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
	河川砂防担当	0585-23-1105		
美濃土木事務所	河川砂防課	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-33-4901		
郡上土木事務所	河川砂防課	0575-67-1111	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-65-4966		
可茂土木事務所	河川砂防課	0574-25-3111	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗 町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井 2610-1 可茂総合庁舎内
	河川砂防担当	0574-25-0355		
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-23-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-25-7224		
恵那土木事務所	河川砂防課 河川担当	0573-26-1111	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067- 71 恵那総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当			
下呂土木事務所	河川砂防課	0576-52-3111	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
	河川砂防担当	0576-52-1948		
高山土木事務所	河川砂防課	0577-33-1111	高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防担当	0577-33-1086		
古川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村)	〒509-4263 飛騨市古川町上野617-1
	河川砂防担当	0577-73-3346		

平成21年度版 川を題材とした
総合的な学習の時間活動事例集

平成22年3月発行

編集・発行 岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-1111 (代表)

FAX 058-278-2753 (河川課)

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11652/>

MAIL c11652@pref.gifu.lg.jp (河川課)

協 賛 岐 阜 県 河 川 協 会
岐 阜 県 砂 防 協 会